

多度津町男女共同参画に関する

アンケート

～結果報告書～

【住民アンケート編】

多 度 津 町

令和3年6月

## 【住民アンケート編】

### I 調査の概要

#### 1 調査の目的

多度津町における男女共同参画に関する取り組み状況について、住民へのアンケート調査により実態を把握し、男女共同参画の意識啓発を図るとともに、「第3次たどつ男女共同参画プラン」策定に係る基礎資料とすることを目的とする。

#### 2 調査の期間

令和2年7月1日から令和2年7月31日まで

#### 3 調査対象

20歳以上の多度津町内に居住する男女1,000名  
(令和2年6月1日現在での住民基本台帳より無作為抽出)

#### 4 調査方法

調査対象者に対し、調査用紙を郵送により配布・回収

#### 5 調査内容

- (1) あなたのことについて
- (2) 男女平等について
- (3) 仕事、ワーク・ライフ・バランスについて
- (4) 「人権」について
- (5) 男女共同参画社会の実現にむけて
- (6) 男女共同参画キャッチフレーズ・自由意見

6 有効回収数 (率) 303 (30.3%)

## 7 本調査結果報告書の留意点

本報告書を理解するうえで、次の点に留意する必要がある。

- (1) 集計結果の比率は百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。  
このため、合計が100%にならない場合もある。
- (2) 複数回答の設問では、比率の合計が100%を超える場合がある。
- (3) 基数となる回答数は【n=〇〇〇】として掲載し、各比率は回答数を100%として算出している。
- (4) 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化している。
- (5) 問の中には「～に○を選択した方にお伺いします。」など、いろいろな制限があり、また属性別に集計を行ったものなどについて、回答数が少なく、優位性の低いものも含まれる。

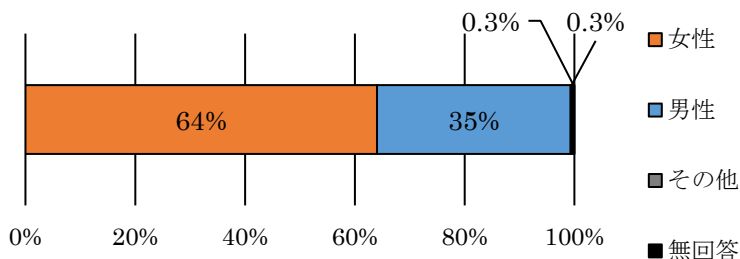
## II 回答者の属性

(1) あなたのことについてお尋ねします

**問1** あなたの性別をお答えください。あてはまる番号に 1つ〇 をつけてください。

【n = 303】

性別	人数	割合
1.女性	194	64.0%
2.男性	107	35.3%
3.その他	1	0.3%
無回答	1	0.3%
合計	303	

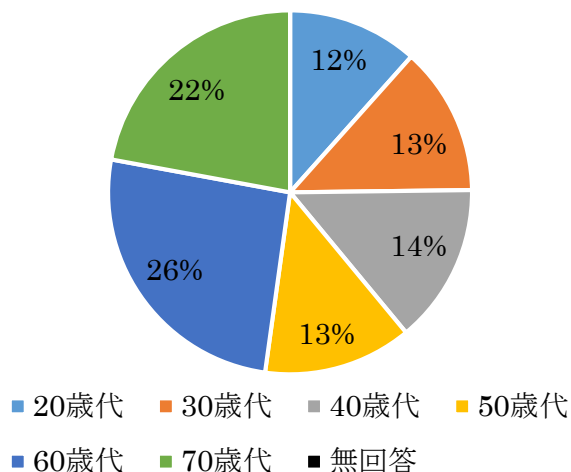


回答者の性別は女性 64.0%、男性 35.3%となっている。

**問2** あなたの年齢をお答えください。あてはまる番号に 1つ〇 をつけてください。

【n = 303】

年代	人数	割合
1. 20歳代	35	11.6%
2. 30歳代	40	13.2%
3. 40歳代	43	14.2%
4. 50歳代	40	13.2%
5. 60歳代	78	25.7%
6. 70歳代	67	22.1%
無回答	0	0.0%
合計	303	

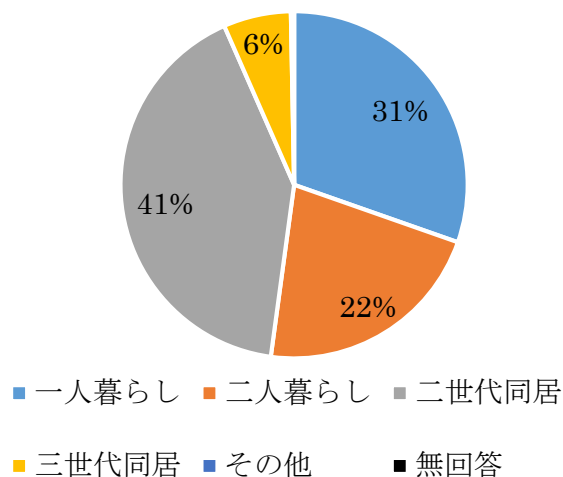


回答者の年齢は、「60代」が25.7%で最も多く、次いで「70代以上」、「40代」の順となっている。比較的若い世代ほど回答者が少ない。

**問3** あなたの家族構成をお答えください。あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

【n = 303】

家族構成	人数	割合
1.一人暮らし	92	30.4%
2.パートナー(配偶者・恋人など)との二人暮らし	66	21.8%
3.二世世代(親・子)が同居	125	41.3%
4.三世世代(親・子・孫)が同居	19	6.3%
5.その他	1	0.3%
無回答	0	0.0%
合計	303	

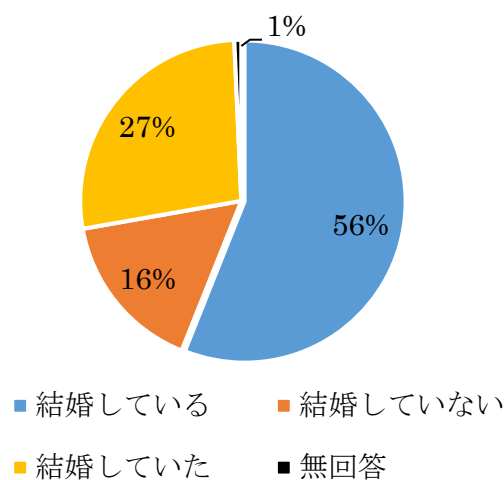


回答者の世帯構成は「二世世代（親・子）が同居」が41.3%と最も多く、次いで「一人暮らし」、「パートナー（配偶者・恋人など）との二人暮らし」の順となっている。

**問4** あなたは結婚していますか。あてはまる番号に1つをつけてください。

【n = 303】

結婚	人数	割合
1.結婚している (事実婚・同居婚を含む)	170	56.1%
2.結婚していない	49	16.2%
3.結婚していた	82	27.1%
無回答	2	0.7%
合計	303	



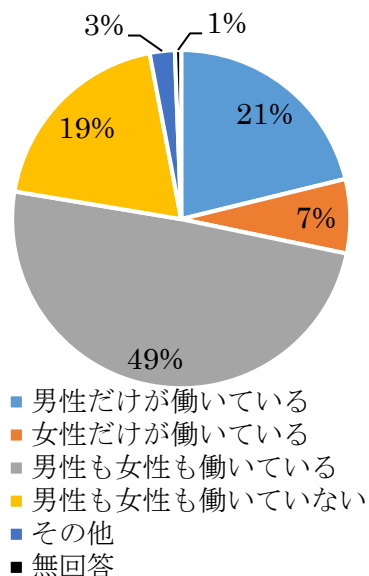
1.⇒問4-1・4-2へ。2,3.⇒問5へ

**問4-1** 【 **問4**で「1」と回答した方にお尋ねします。 】

現在のあなたとあなたのパートナー(配偶者・恋人など)の働き方は次のうちどれですか？あてはまる番号に1つOをつけてください。

【 n = 170 】

働き方	人数	割合
1.男性だけが働いている	36	21.2%
2.女性だけが働いている	12	7.1%
3.男性も女性も働いている	84	49.4%
4.男性も女性も働いていない	33	19.4%
5.その他	4	2.4%
無回答	1	0.6%
合計	170	



回答者の56.1%にあたる170人が既婚またはパートナーと同居しており、そのうち49.4%が共働きである。

**問4-2** 【 **問4**で「1」と回答した方にお尋ねします。 】

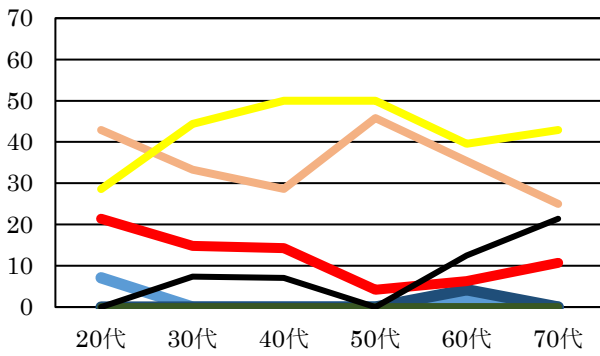
家庭生活での、パートナー間の役割分担はどのようになっていますか？ それぞれについて、あてはまる番号に1つずつOをつけてください。

【 n = 170 】

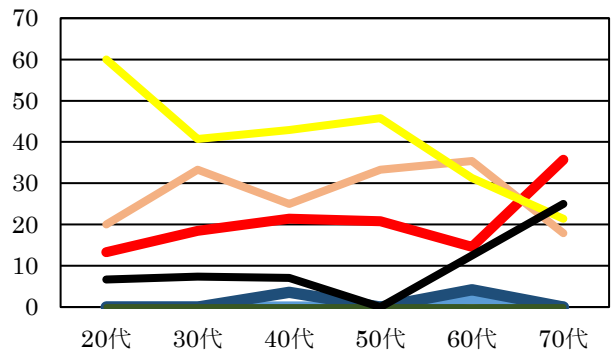
( )内前回比	男性の役割	どちらかといえば男性の役割	男性と女性と同程度	どちらかといえば女性の役割	女性の役割	該当なし(わからない)	無回答
1. 食事のしたく (あとかたづけ)	1.2%	1.2%	10.6%	34.1%	42.9%	0.0%	10.0%
2. 掃除・洗濯	0.6% (+0.5%)	1.8% (+1.0%)	20.6% (+8.1%)	28.8% (+1.6%)	37.6% (▲3.9%)	0.0% (▲0.4%)	10.6% (▲6.0%)
3. 買い物	1.2% (+0.4%)	2.9% (+1.4%)	24.7% (+2.4%)	31.2% (+0.6%)	30.0% (+2.5%)	0.0% (▲0.4%)	10.0% (▲7.0%)

4. 育児・教育・しつけ	1.8%	0.6%	21.8%	30.0%	13.5%	17.6%	14.7%
5. 介護・看護	1.8%	2.9%	12.4%	13.5%	15.9%	39.4%	14.1%
	(+1.0%)	(+1.8%)	(▲8.7%)	(▲9.9%)	(+5.3%)	(+17.5%)	(▲7%)

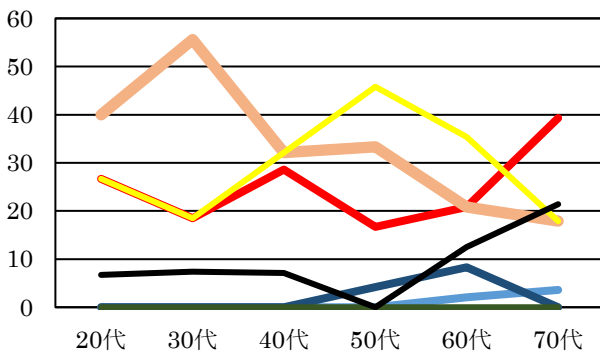
(1) 食事の支度 (あとかたづけ)



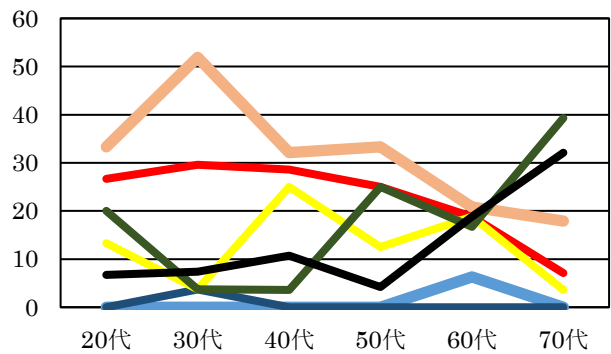
(2) 掃除・洗濯



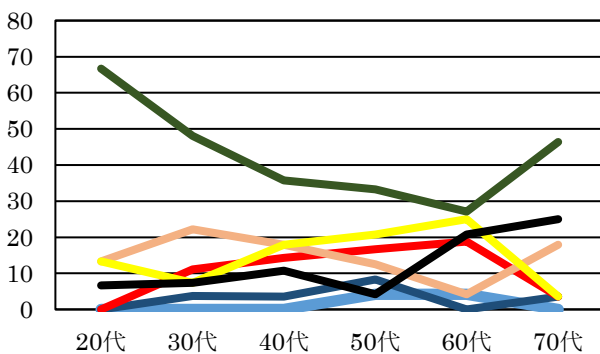
(3) 買い物



(4) 育児・教育・しつけ



(5) 介護・看護



- 男性の役割
- どちらかといえば男性の役割
- 男性と女性同程度
- どちらかといえば女性の役割
- 女性の役割
- 該当なし
- 無回答

項目ごとにバラツキはあるものの、全体的な傾向としては家事や育児に対して、女性が多く役割を担っている事がわかる。

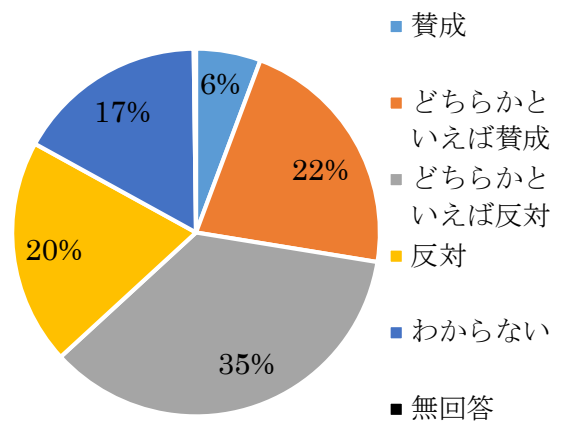
### Ⅲ 調査結果

(2) 男女平等についてお尋ねします。

**問5**あなたは「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についてどのように思いますか？あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

【n = 303】

	人数	割合
1.賛成	17	5.6%
2.どちらかといえば賛成	65	21.5%
3.どちらかといえば反対	106	35.0%
4.反対	59	19.5%
5.わからない	50	16.5%
無回答	6	2.0%



1.2.⇒問5-1へ 3.4.⇒問5-2へ 5.⇒問6へ

「どちらかといえば反対」、「反対」で54.5%と半数を占める。次いで「どちらかといえば賛成」、「わからない」と続く。

**問5-1** 【問5で「1」または「2」と回答した方にお尋ねします。】

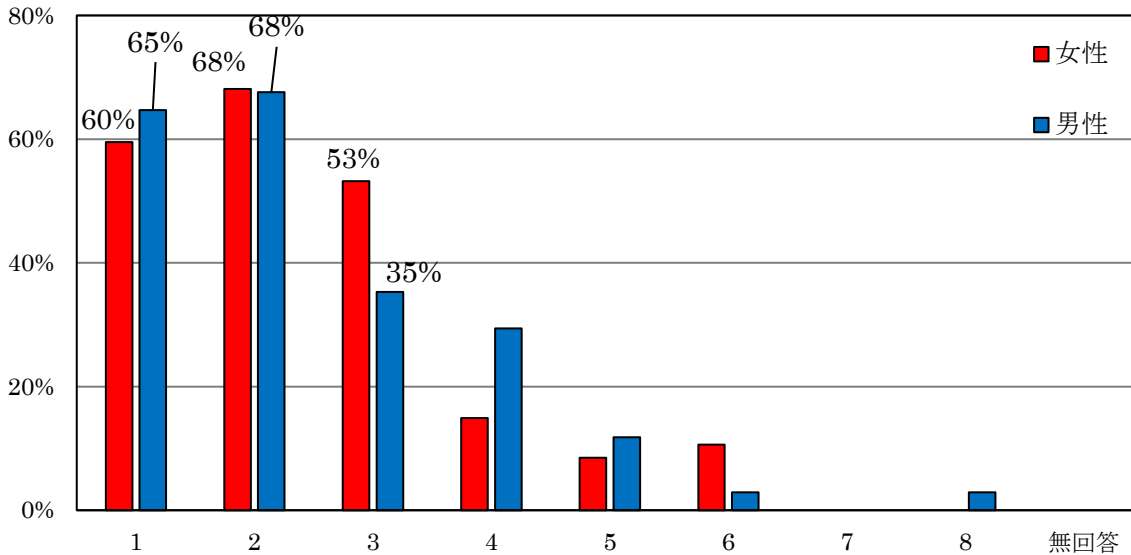
賛成する理由は次のうちどれにあたりますか？あてはまる番号に3つまで〇をつけてください。

【n = 177 (延べ数)】

	女性	男性
1.妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから	59.6%	64.7%
2.家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから	68.1%	67.6%
3.夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから	53.2%	35.3%
4.日本の伝統的な家族の在り方だと思うから	14.9%	29.4%
5.自分の家族も役割分担をしていたから	8.5%	11.8%
6 その他	10.6%	2.9%



7 特にない	0.0%	0.0%
8 わからない	0.0%	2.9%
無回答	0.0%	0.0%



「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えに「賛成」、「どちらかといえば賛成」を選んだ理由は、男女とも「2.家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから」が第1位、続いて「1.妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとってよいと思うから」、「3.夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」となっている。

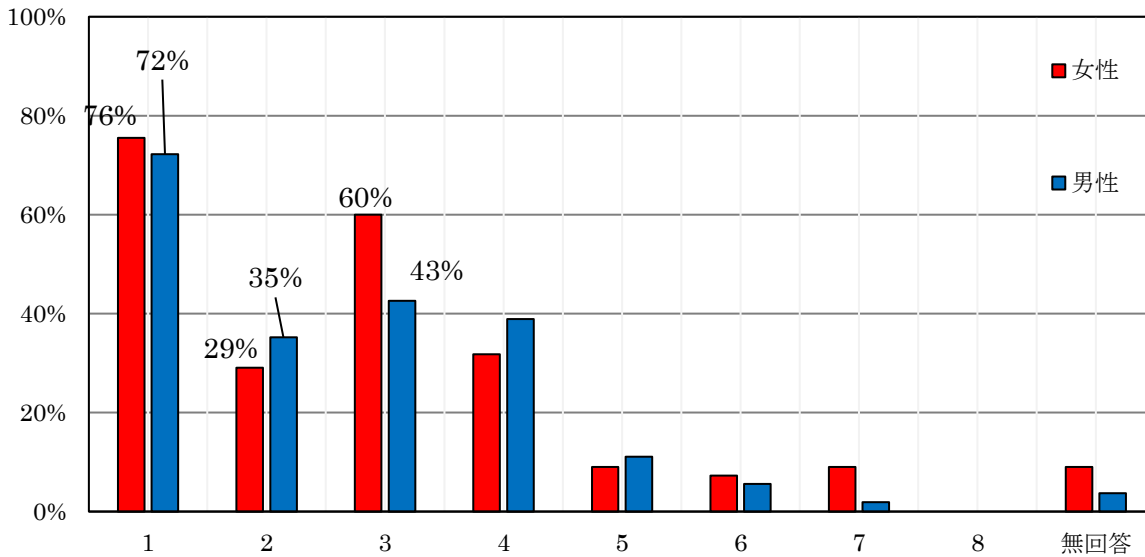
**問5-2 【 問5で「3」または「4」と回答した方にお尋ねします。 】**

反対する理由は次のうちどれにあたりますか？あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

【 n = 353 (延べ数) 】

	女性	男性
1.夫と妻の固定的な役割分担を押し付けるべきではないから	75.5%	72.2%
2.妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから	29.1%	35.2%
3.夫も妻も働いた方が、多くの収入を得られると思うから	60.0%	42.6%
4.男女平等に反するから	31.8%	38.9%
5.自分の母親も外で働いていたから	9.1%	11.1%

6. その他	7.3%	5.6%
7.特にない	0.9%	1.9%
8.わからない	0.0%	0.0%
無回答	0.9%	3.7%



「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えに「どちらかといえば反対」、「反対」を選んだ理由は、男女とも「1.夫と妻の固定的な役割分担を押し付けるべきではないから」が第1位、続いて「3.夫も妻も働いた方が、多くの収入を得られると思うから」、「2.妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思えるから」となっている。

**問6** あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか？

それぞれの分野ごとの、あてはまる番号に1つつ0をつけてください。

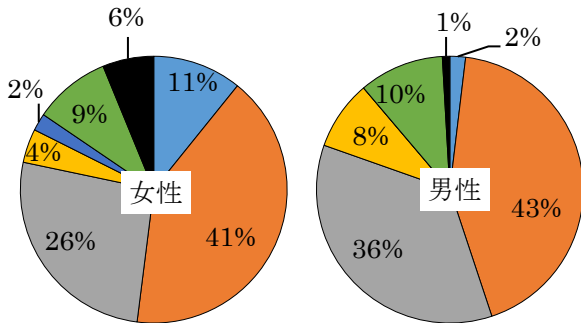
【n = 303】

1 段目：女 性 3 段目：男 性 ( ) 内は前回調査比 網掛けは±5%以上	男性の方 が非常に 優遇され ている	どちらか といえば 男性が優 遇されて いる	男女平等 である	どちらか といえば 女性が優 遇されて いる	女性の方 が非常に 優遇され ている	わからな い	無回答
(1) 家庭生活で	10.8% (▲1.8%)	41.2% (▲10.0%)	26.3% (+0.2%)	4.1% (+1.7%)	2.1% (+1.1%)	9.3% (+3.5%)	6.2%
	1.9% (▲3.1%)	43.0% (+0.9%)	35.5% (▲6.6%)	8.4% (+2.0%)	0.0% (増減なし)	10.3% (+6.0%)	0.9%
(2) 職場や職業で	17.5% (+0.6%)	43.3% (▲6.9%)	16.5% (+5.9%)	5.2% (+0.4%)	1.0% (▲0.4%)	10.3% (▲3.2%)	6.2%
	13.1% (+3.1%)	44.9% (▲0.8%)	25.2% (+0.9%)	5.6% (▲2.3%)	0.9% (▲2.0%)	9.3% (増減なし)	0.9%
(3) 学校教育で	2.1% (+0.7%)	12.9% (▲4.0%)	58.2% (+8.0%)	3.6% (+0.7%)	0.0% (▲1.0%)	18.0% (▲5.7%)	5.2%
	0.9% (+0.2%)	9.3% (▲5.7%)	70.1% (+11.5%)	4.7% (+1.8%)	0.0% (▲1.4%)	14.0% (▲6.7%)	0.9%
(4) 政治の場で	28.9% (▲6.4%)	41.2% (▲3.7%)	10.8% (+5.0%)	0.5% (▲0.5%)	0.0% (▲0.5%)	13.9% (+1.8%)	4.6%
	20.6% (▲1.3%)	47.7% (▲3.7%)	16.8% (▲4.6%)	2.8% (+1.4%)	0.0% (増減なし)	11.2% (+4.8%)	0.9%
(5) 法律や制度 で	12.4% (▲1.1%)	29.9% (▲8.3%)	24.7% (+0.1%)	5.2% (+2.3%)	0.0% (▲1.0%)	22.7% (+4.3%)	5.2%
	3.7% (▲2.0%)	26.2% (+3.3%)	43.0% (▲7.7%)	8.4% (▲1.6%)	0.9% (▲0.5%)	16.8% (+7.5%)	0.9%
(6) 社会通念・慣 習しきたり などで	21.6% (▲7.9%)	52.1% (▲2.0%)	6.7% (+1.4%)	1.5% (+1.5%)	0.5% (増減なし)	12.4% (+2.3%)	5.2%
	8.4% (▲8.7%)	58.9% (+3.2%)	17.8% (+4.2%)	5.6% (▲0.8%)	0.0% (▲1.4%)	8.4% (+2.7%)	0.9%
(7) 自治会・PT A等地域活 動の場で	8.8%	37.6%	25.8%	4.6%	0.0%	17.5%	5.7%
	4.7%	25.2%	40.2%	8.4%	0.0%	18.7%	2.8%

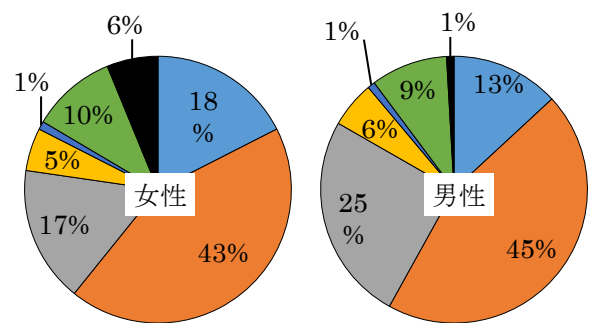
(8) 社会全体で	11.3%	55.7%	11.3%	1.0%	0.0%	15.5%	5.2%
	4.7%	56.1%	29.0%	2.8%	0.0%	6.5%	0.9%

※性別 その他、設問「(7)自治会・PTA等地域活動の場で」・「(8)社会全体で」は  
前回未実施。

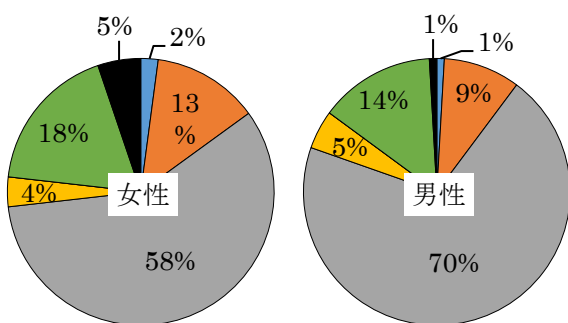
(1) 家庭生活上で



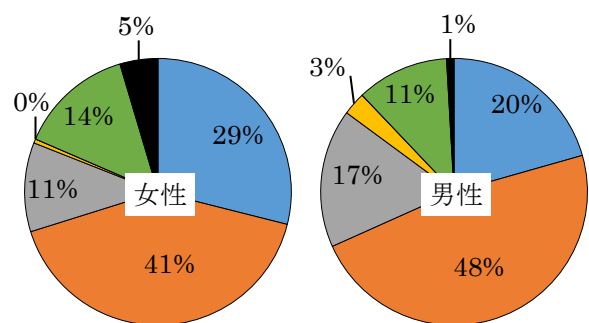
(2) 職場や職業で



(3) 学校教育で



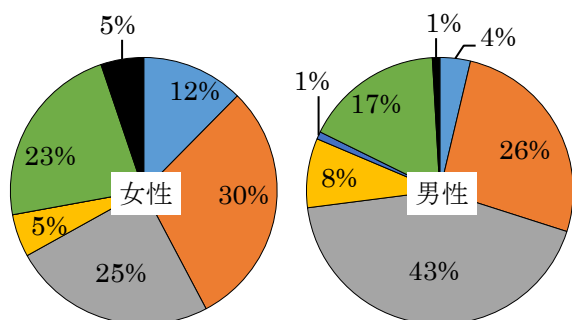
(4) 政治の場で



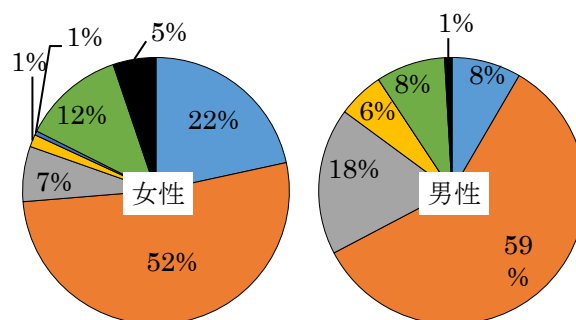
- 男性の方が優遇
- 男女平等
- 女性の方が優遇
- 無回答

- どちらかといえば男性が優遇
- どちらかといえば女性が優遇
- 分からない

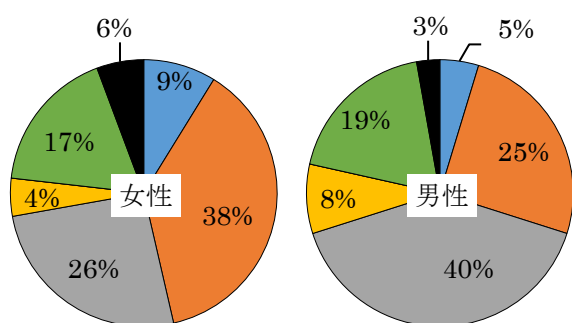
(5) 法律や制度で



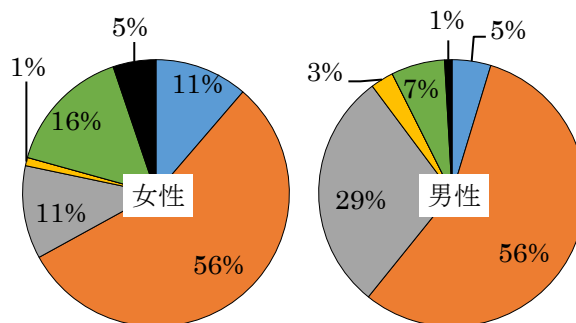
(6) 社会通念・慣習しきたりなどで



(7) 自治会・PTA等  
地域活動の場で



(8) 社会全体で



- 男性の方が優遇
- 男女平等
- 女性の方が優遇
- 無回答

- どちらかといえば男性が優遇
- どちらかといえば女性が優遇
- 分からない

「学校教育の場」及び「法律や制度」以外の場面では、「男性のほうが優遇されている」と感じている人が男女とも比較的多い状況である。

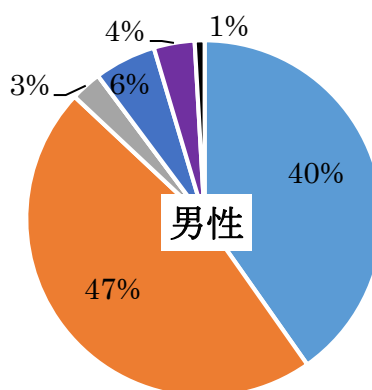
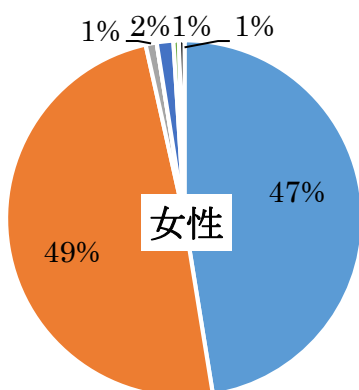
前回調査と比較すると全体的に「男性の方が優遇されている」また「女性のほうが優遇されている」と感じている人がどちらも若干減っている。

「男女平等である」と感じている人が「職場や職業で」「学校教育で」「政治の場で」の3項目で増加しており、「家庭生活で」「法律や制度で」の2項目では、男性数値に現象が見られ、またその2項目では「わからない」と答える男性の割合が増えている。

**問7** あなたは、男性が育児に参加することについてどのようにお考えですか？  
 あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

【n = 303】

選択肢	女 性	男 性	
1. 男性の育児参加はぜひ必要である	47.4%	40.2%	⇒問8へ
2. 男性の育児参加はある程度必要である	49.0%	46.7%	
3. 男性の育児参加はあまり必要でない	1.0%	2.8%	⇒問7-1へ
4. 男性の育児参加は全く必要でない	0.0%	0.0%	
5. どちらともいえない	1.5%	5.6%	⇒問8へ
6. わからない	0.5%	3.7%	
無回答	0.5%	0.9%	



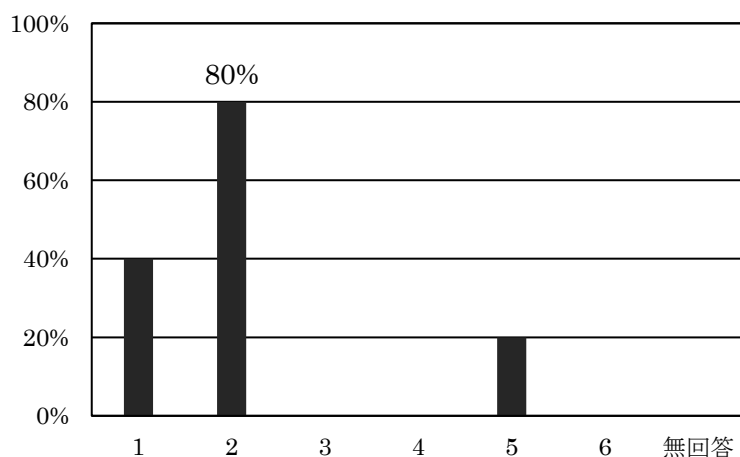
- 1. 男性の育児参加はぜひ必要である
- 2. 男性の育児参加はある程度必要である
- 3. 男性の育児参加はあまり必要でない
- 4. 男性の育児参加は全く必要でない
- 5. どちらともいえない
- 6. わからない
- 無回答

男性の育児参加については、「ぜひ必要」「ある程度必要」と考える人がそれぞれ女性の9割、男性の8割を超えている。女性の方が「ぜひ必要」と考える割合が高く、女性が男性の育児参加をより必要と感じていることがうかがえる。

問7-1 【 問7で「3」または「4」と回答した方にお尋ねします。 】⇒それ以外の方は問8へ  
 男性の育児参加は必要ないと思う理由は次のどれにあたりますか？  
 あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

【 n = 7 (延べ人数) 】

選択肢	回答数
1. 女性の方が育児に向いているから	2
2. 男性は育児よりも仕事を優先した方がよいから	4
3. 男性は育児に向いていないから	0
4. 男性が育児をすることに周囲の理解が得られないから	0
5. その他	1
6. わからない	0
無回答	0

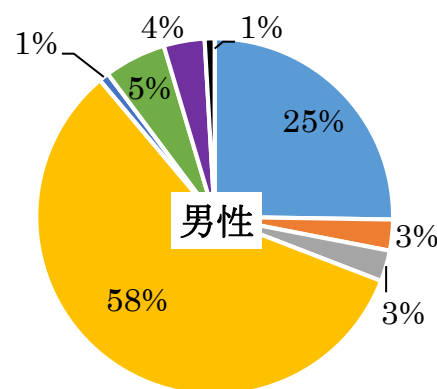
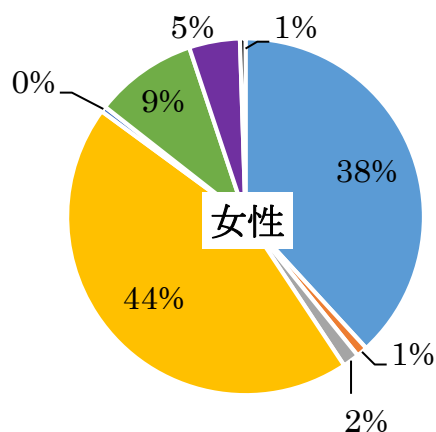


(3) 仕事、ワーク・ライフ・バランスについてお尋ねします。

**問8** あなたは女性が仕事を持つことについて、どのようにお考えですか？  
 あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

【n = 303】

	女 性	男 性
1. ずっと仕事を持っているほうがよい	38.1%	25.2%
2. 結婚するまでは仕事を持ち、結婚後は持たないほうがよい	1.0%	2.8%
3. 子供ができるまでは仕事を持ち、その後は持たないほうがよい	1.5%	2.8%
4. 子どもができたなら仕事を中断し、子育てに手がかからなくなってから、再びもつほうがよい	44.3%	57.9%
5. 女性は仕事を持たないほうがよい	0.5%	0.9%
6. その他	9.3%	5.6%
7. わからない	4.6%	3.7%
無回答	0.5%	0.9%



- ずっと仕事を持っているほうがよい
- 結婚するまでは仕事を持ち、結婚後は持たないほうがよい
- 子供ができるまでは仕事を持ち、その後は持たないほうがよい
- 子どもができたなら仕事を中断し、子育てに手がかからなくなってから、再びもつほうがよい
- 女性は仕事を持たないほうがよい
- その他
- わからない
- 無回答

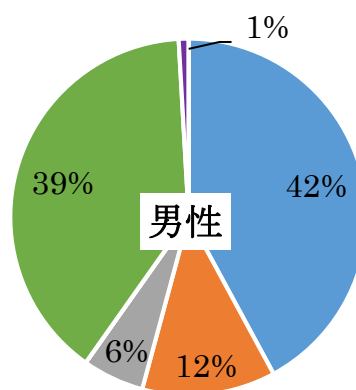
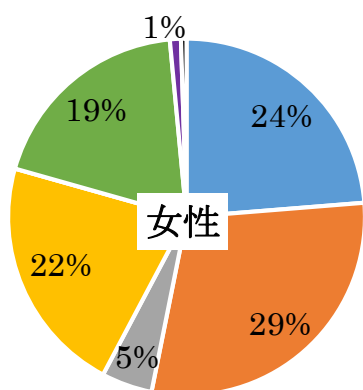
女性・男性ともに、女性が仕事を持つことには肯定的な意見が多い。



**問9** 現在のあなたにあてはまる番号に1つ〇をつけてください。

【n = 303】

	女 性	男 性	
1. 常勤の会社員・公務員・その他勤め人	23.7%	42.1%	⇒問 9-1 へ
2. パート・アルバイト・派遣社員など	29.4%	12.1%	
3. 自営業（家族従業者を含む）（農林業・漁業を含む）	4.6%	5.6%	
4. 家事専業（主婦・主夫）	21.6%	0.0%	⇒問 10 へ
5. 学生	0.0%	0.0%	
6. 無職	19.1%	39.3%	
7. その他	1.0%	0.9%	
無回答	0.5%	0.0%	



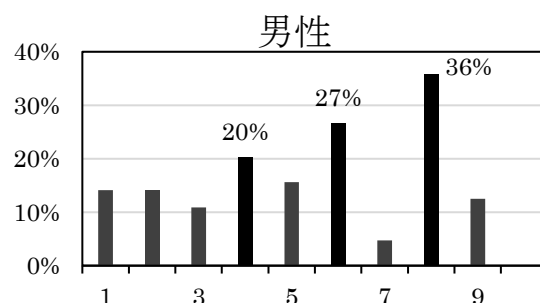
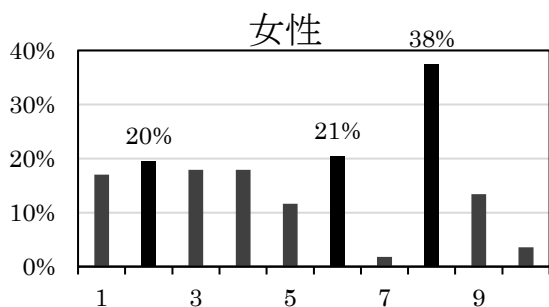
- 常勤の会社員・公務員・その他勤め人
- パート・アルバイト・派遣社員など
- 自営業（家族従業者を含む）（農林業・漁業を含む）
- 家事専業（主婦・主夫）
- 学生
- 無職
- その他
- 無回答

女性の「パート・アルバイト」と答えた人の割合が多く、男性の方が「常勤の会社員・公務員等」と答えた人の割合が多くなっている。若い世代の回答が比較的小さいため、無職の割合が高めに出現している事が考えられる。

**問9-1** 【問9で「1」、「2」、「3」と回答した方にお尋ねします。】⇒それ以外の方は**問10**へ  
 あなたの職場では、男女間で次のような格差がありますか？  
 あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

【n = 279 (延べ数)】

( )内は前回調査比	女 性	男 性
1. 募集や採用の面で格差がある	17.0% (+7.8)	14.1% (▲3.4)
2. 賃金・昇給の面で格差がある	19.6% (▲18.2)	14.1% (▲9.7)
3. 昇進・昇格の機会に格差がある	17.9% (▲12.7)	10.9% (▲20.8)
4. 女性の仕事は補助的業務や雑務が多い	17.9% (▲0.5)	20.3% (▲14.6)
5. 女性には結婚や出産を機に退職の慣習や雰囲気がある	11.6% (+2.4)	15.6% (+2.9)
6. 男性は育児休業や介護休業を利用しにくい慣習や雰囲気がある	20.5% (▲13.2)	26.6% (▲30.5)
7. その他	1.8% (▲0.2)	4.7% (▲3.1)
8. 特に男女の格差はない	37.5% (+6.9)	35.9% (+20.0)
9. わからない	13.4% (+4.2)	12.5% (▲6.2)
無回答	3.6%	0.0%



男女とも「とくに男女の格差はない」が1位、前回調査よりも割合も上がっている。  
 前回調査より、「男性は育児休暇や介護休暇を利用しにくい」の項目は、割合が下がっているが、「女性には結婚や出産を機に退職の慣習や雰囲気がある」は、男女とも少し上がっている。

**問10** あなたは、次の休業制度を利用したことがありますか？

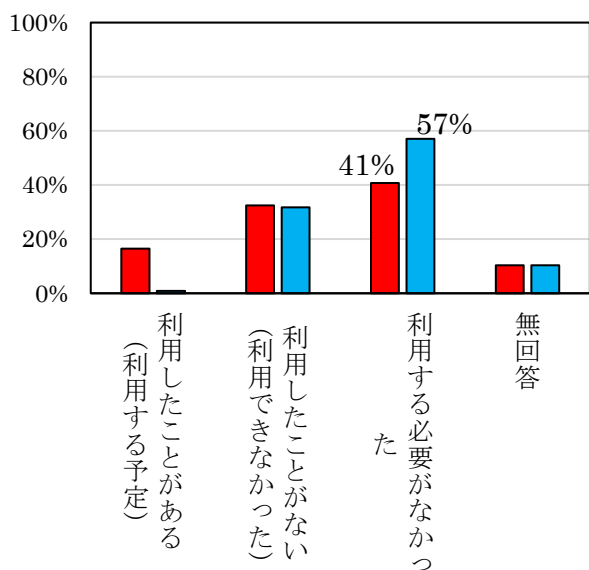
休業制度ごとのあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

【n = 303】

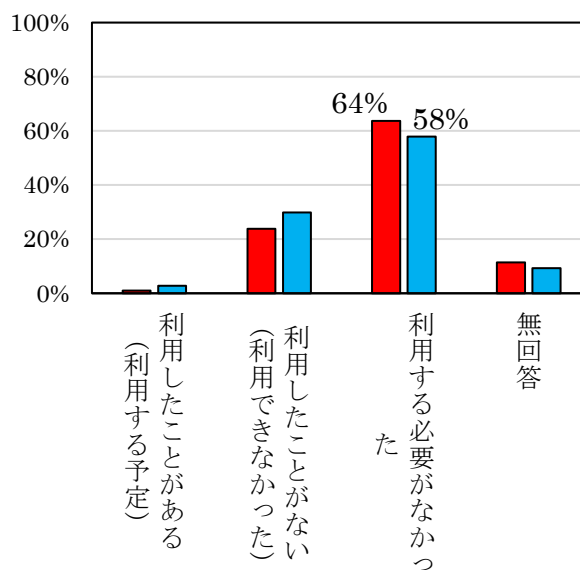
1 段目：女 性 2 段目：男 性	利用したことがある (利用する予定)	利用したことがない (利用できなかった)	利用する必要が なかった	無回答
(1) 育児休業制度	16.5% 0.9%	32.5% 31.8%	40.7% 57.0%	10.3% 10.3%
(2) 介護休業制度	1.0% 2.8%	23.8% 29.9%	63.7% 57.9%	11.4% 9.3%

問 1 1

育児休業制度



介護休業制度



■ 女性 ■ 男性

問11 【 問10で「(2)利用したことがない(利用できなかった)」と回答した方にお尋ねします。】

⇒それ以外の方は問12へ

「利用したことがない(利用できなかった)」理由はなんですか？

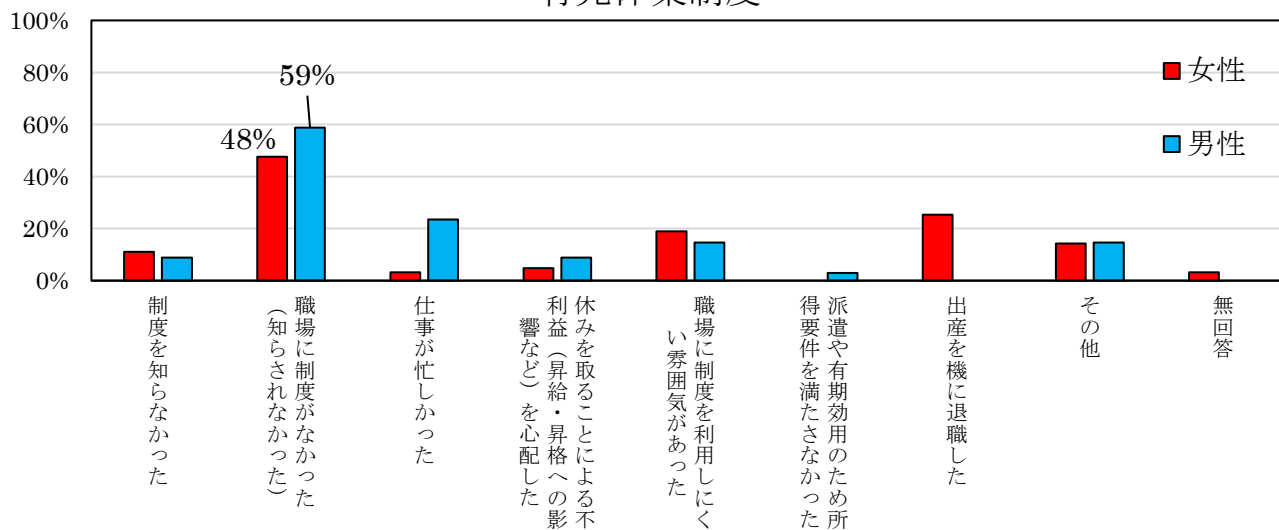
利用しなかった休業制度のあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

(1) 育児休業制度

【n = 128 (延べ数)】

	女性	男性
1. 制度を知らなかった	11.1%	8.8%
2. 職場に制度がなかった(知らされなかった)	47.6%	58.8%
3. 仕事が忙しかった	3.2%	23.5%
4. 休みを取ることによる不利益(昇給・昇格への影響など)を心配した	4.8%	8.8%
5. 職場に制度を利用しにくい雰囲気があった	19.0%	14.7%
6. 派遣や有期効用のため所得要件を満たさなかった	0.0%	2.9%
7. 出産を機に退職した	25.4%	0.0%
8. その他	14.3%	14.7%
無回答	3.2%	0.0%

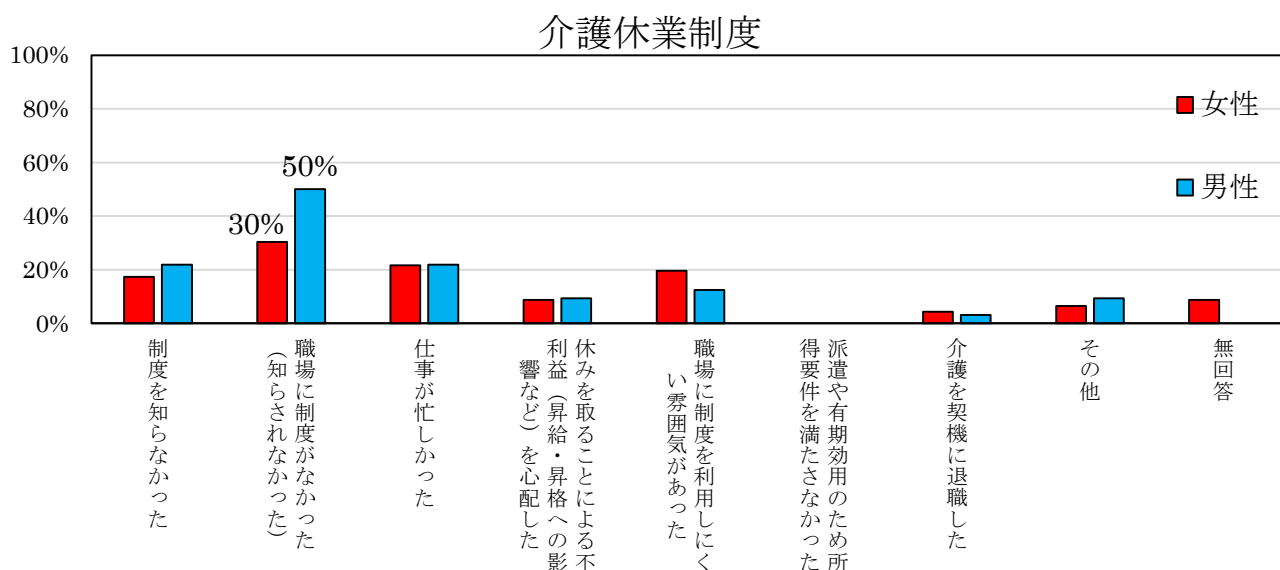
育児休業制度



## (2)介護休業制度

【n = 97延べ数】

	女性	男性
1. 制度を知らなかった	17.4%	21.9%
2. 職場に制度がなかった（知らされなかった）	30.4%	50.0%
3. 仕事が忙しかった	21.7%	21.9%
4. 休みを取ることによる不利益（昇給・昇格への影響など）を心配した	8.7%	9.4%
5. 職場に制度を利用しにくい雰囲気があった	19.6%	12.5%
6. 派遣や有期効用のため所得要件を満たさなかった	0.0%	0.0%
7. 介護を契機に退職した	4.3%	3.1%
8. その他	6.5%	9.4%
無回答	8.7%	0.0%



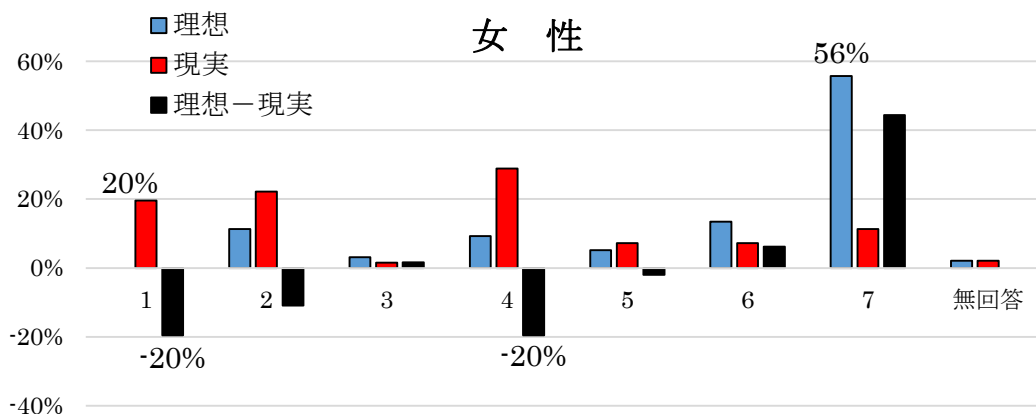
育児・介護休暇とも「職場に制度がなかった（知らされていない）」が一番多い。

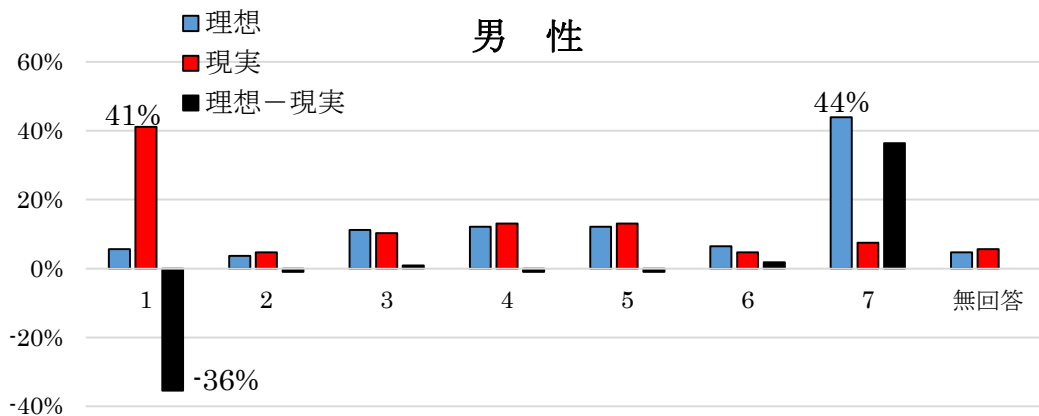
育児休業制度で女性は「出産を機に退職した」、男性は「仕事が忙しかった」が二番目に多く、介護保険制度で女性は「仕事が忙しかった」「職場に制度を利用しにくい雰囲気があった」、男性は「制度を知らなかった」「仕事が忙しかった」が二番目に多くなっている。

**問12** あなたの生活の中での「仕事」「家庭」「プライベート(地域活動・学習・趣味などに自由に使える時間)」の優先度について「現実」と「理想」は次のどれにあたりますか？「現実」と「理想」それぞれ1つずつ番号に○をつけてください。

【n = 303】

選択肢	女 性			男 性		
	理想	現実	理想－現実	理想	現実	理想－現実
1.仕事を優先	0.0%	19.6%	-19.6%	5.6%	41.1%	-35.5%
2.家庭を優先	11.3%	22.2%	-10.9%	3.7%	4.7%	-1%
3.プライベートを優先	3.1%	1.5%	1.6%	11.2%	10.3%	0.9%
4.仕事と家庭をともに優先	9.3%	28.9%	-19.6%	12.1%	13.1%	-1%
5.仕事とプライベートをともに優先	5.2%	7.2%	-2.0%	12.1%	13.1%	-1%
6.家庭とプライベートを優先	13.4%	7.2%	6.2%	6.5%	4.7%	1.8%
7.仕事と家庭、プライベートの調和が実現	55.7%	11.3%	44.4%	43.9%	7.5%	36.4%
無回答	2.1%	2.1%	-	4.7%	5.6%	-





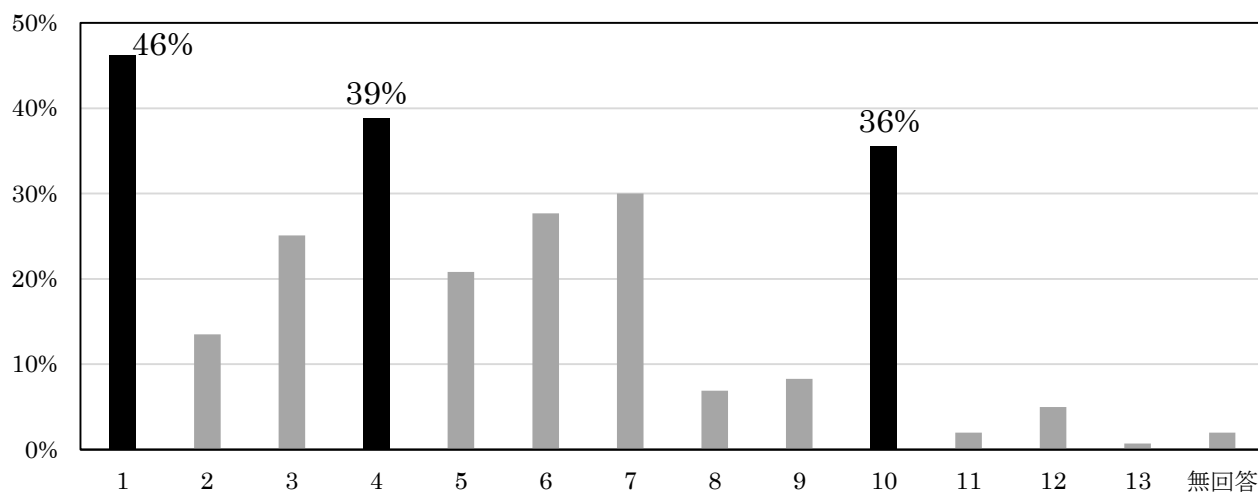
女性・男性ともに「仕事と家庭、プライベートの調和が実現」した生活を理想としているが、現実とはギャップがあることがわかる。

**問13** 「仕事」「家庭」「プライベート」などの様々な活動を、男女がそれぞれ自らの希望するバランスで行うことができる社会をつくっていくためには、どのようなことが必要だと思いますか？あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

【n = 796 (延べ数)】

選択肢	割合 ( ) 前回比
1.男性の家事・育児・介護への参加を促進する	46.2% (+21.1%)
2.男女の雇用機会を均等にする	13.5% (+2.8%)
3.労働時間の短縮や在宅勤務（テレワーク）・フレックスタイムの導入を促進する	25.1% (+14.6%)
4.育児や介護のための休暇制度や手当を利用しやすくする	38.9% (+24.5%)
5.職場での賃金・昇進・仕事内容など、労働条件での男女格差をなくす	20.8% (▲2.6)
6.パートタイムなど非正規労働者の労働条件を改善させる	27.7% (+2.6%)
7.結婚・出産・介護などの理由で退職した人が職場復帰できる再雇用制度を充実させる	30.0% (▲4.7%)
8.再就職を希望する人のための講座・セミナーを充実させる	6.9% (+0.4%)

9.仕事や職場環境に関する相談窓口を充実させる	8.3% (+2.4%)
10.保育や介護のための施設・サービスを充実させる	35.6% (+5.9%)
11.その他	2.0% (±0)
12.わからない	5.0% (▲0.4%)
13.すでに男女ともに働きやすい社会になっている	0.7% (-)
無回答	2.0% (-)



ワーク・ライフ・バランスの実現のために必要な事としては、第1位が「男性の家事・育児・介護への参加を促進する」、以下順に「育児や介護のための休暇制度や手当を利用しやすくする」、「保育や介護のための施設・サービスを充実させる」が続いている。



(4) 「人権」についてお尋ねします

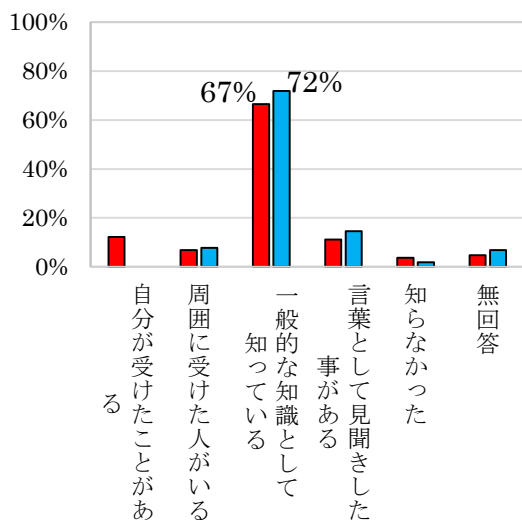
**問14** ハラスメントについてお尋ねします。あなたは次のハラスメントについて、経験したり聞きしたことはありますか？ハラスメントごとにいくつでも○をつけてください。

【n = 1 2 2 8 (延べ数)】

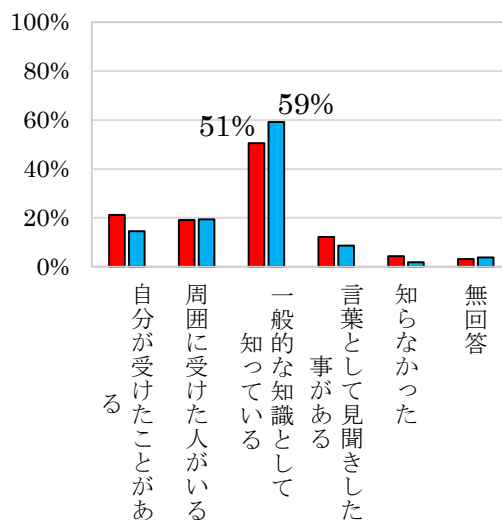
1 段目：女 性 2 段目：男 性	自分がハラスメントを受けたことがある	周囲にハラスメントを受けた人がいる (相談を受けたことがある)	一般的な知識として知っている	言葉として見聞きしたことがある	知らなかった	無回答
(1) セクシュアル・ハラスメント	12.2% 0.0%	6.9% 7.8%	66.5% 71.8%	11.2% 14.6%	3.7% 1.9%	4.8% 6.8%
(2) パワー・ハラスメント	21.3% 14.6%	19.1% 19.4%	50.5% 59.2%	12.2% 8.7%	4.3% 1.9%	3.2% 3.9%
(3) マタニティ・ハラスメント	6.4% 0.0%	5.9% 4.9%	63.3% 57.3%	13.8% 22.3%	10.1% 11.7%	5.3% 5.8%
(4) パタニティ・ハラスメント	0.0% 0.0%	0.5% 1.0%	29.8% 29.1%	11.7% 14.6%	55.3% 49.5%	4.8% 5.8%

問 14-1 へ

セクシュアル・ハラスメント

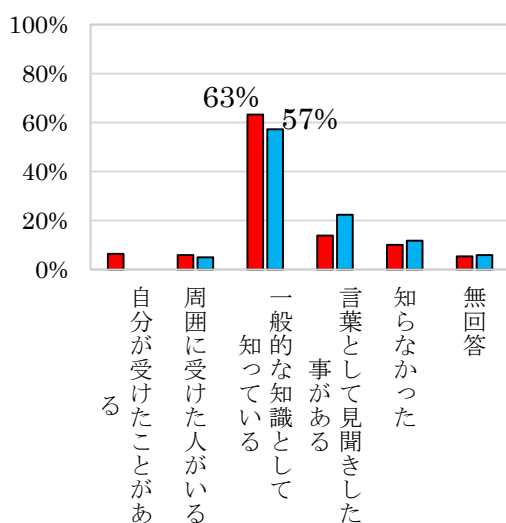


パワー・ハラスメント

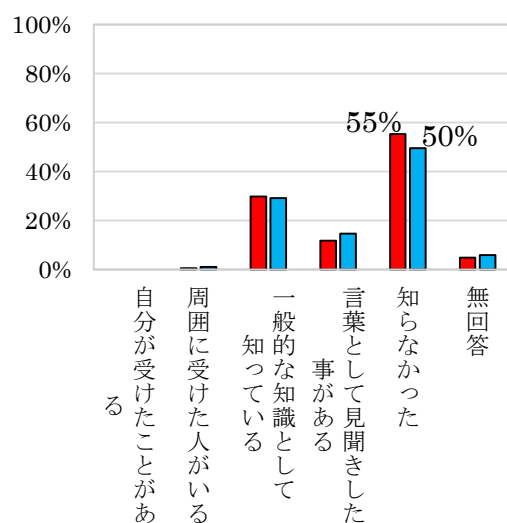


■ 女性 ■ 男性

マタニティ・ハラスメント



パタニティ・ハラスメント



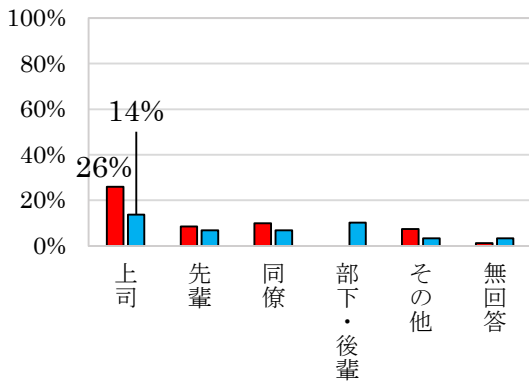
■ 女性 ■ 男性

**問14-1** 【 **問14**で「受けたことがある」「周囲に受けた人がいる」と回答した方にお尋ねします。】  
**ハラスメントの加害者はどなたですか？該当するハラスメントのあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。**

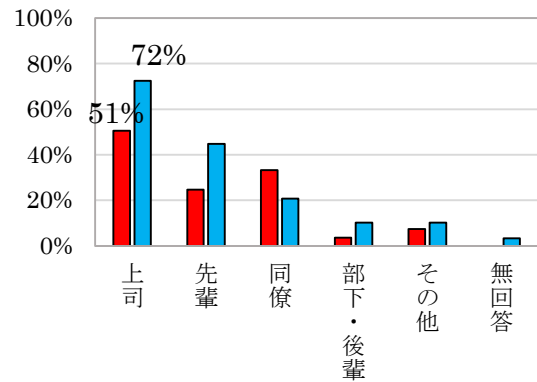
【n = 254 (延べ数)】

1 段目：女性 2 段目：男性	上司	先輩	同僚	部下 後輩	その他	無回答
(1) セクシュアル・ ハラスメント	25.9% 13.8%	8.6% 6.9%	9.9% 6.9%	0.0% 10.3%	7.4% 3.4%	1.2% 3.4%
(2) パワー・ハラスメント	50.6% 72.4%	24.7% 44.8%	33.3% 20.7%	3.7% 10.3%	7.4% 10.3%	0.0% 3.4%
(3) マタニティ・ ハラスメント	21.0% 10.3%	8.6% 3.4%	8.6% 0.0%	3.7% 0.0%	1.2% 6.9%	0.0% 0.0%
(4) パタニティ・ ハラスメント	1.2% 3.4%	0.0% 3.4%	0.0% 0.0%	0.0% 0.0%	0.0% 0.0%	0.0% 0.0%

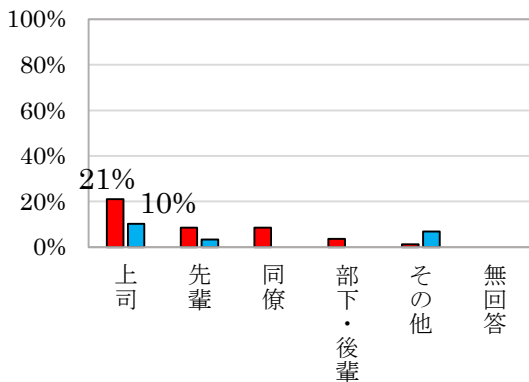
セクシュアル・ハラスメント



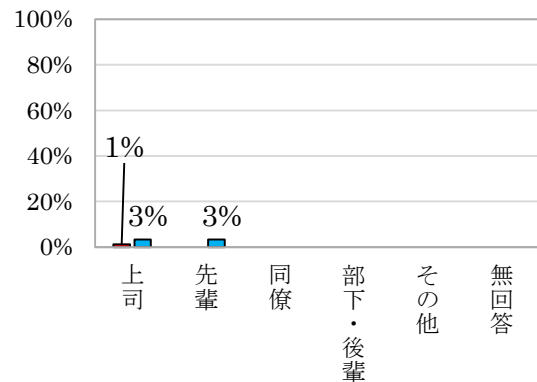
パワー・ハラスメント



マタニティ・ハラスメント



パタニティ・ハラスメント



■ 女性 ■ 男性

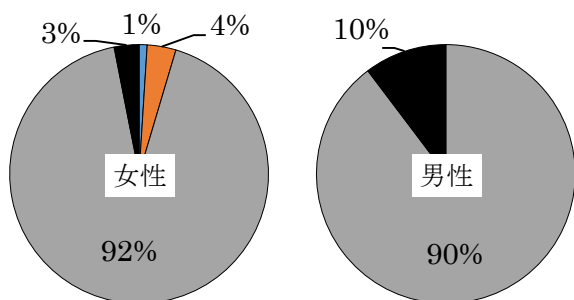
**問15** ドメスティック・バイオレンス\*(以下、DV)についてお尋ねします。家庭内・家族間で起こる暴力、とりわけパートナー(夫・妻・恋人等)といった親密な間柄での暴力が問題になっていますが、あなたはパートナーから、次のようなことをされた経験がありますか？  
 あてはまる番号に1つつづつ○をつけてください。

【n=303】

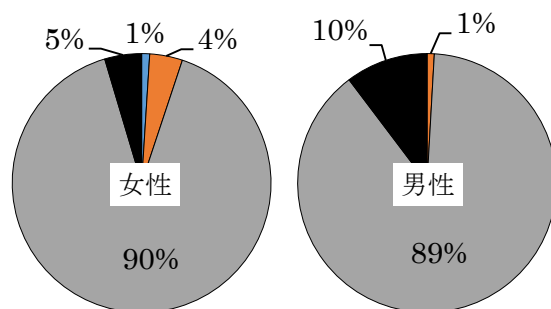
( ) 内前回調査比	何回もある	1・2回ある	全くない	無回答
(1) 命の危険を感じるほどの暴力	0.7% (▲0.1%)	2.6% (+1.2%)	90.8% (+5.2%)	5.9% (▲6.2%)
(2) 医師の治療が必要となる程度の暴力	0.7% (+0.1%)	3.3% (+1.3%)	89.1% (+3.5%)	6.9% (▲5%)

(3) 医師の治療までは必要ない程度の暴力	2.6% (+1.8%)	6.6% (+1.2%)	84.5% (+2.6%)	6.3% (▲5.6%)
(4) 嫌がっているのに性的な行為を強要	2.0% (▲1.4%)	5.0% (▲3.2%)	86.5% (+9.4%)	6.6% (▲4.7%)
(5) 避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する	1.7% (+3.3%)	3.0% (+0.2%)	89.1% (+4.6%)	6.3% (▲6.1%)
(6) 何を言っても無視され続けた	3.6% (▲0.6%)	6.3% (▲1.0%)	84.5% (+8.5%)	5.6% (▲6.8%)
(7) 「だれのおかげで生活できるのだ」「稼ぎが悪い」などと言われたり、大声でどなられた	3.0%	6.9%	84.2%	5.9%
(8) 交友関係や電話、メールなどを細かく監視したり、頻繁に電話やメールをしてきて、すぐに返事をしないと怒る	3.6% (+1.9%)	4.0% (▲1.4%)	86.5% (+6.6%)	5.9% (▲7.1%)
(9) 社会との関わりや働くことなどを許さない	1.7%	1.7%	90.8%	5.9%
(10) 生活費を渡さなかったり、お金のやりくりを細かく報告させたりして経済的に押さえつける	2.6%	4.3%	86.5%	6.6%

(1) 命の危険を感じるほどの暴力

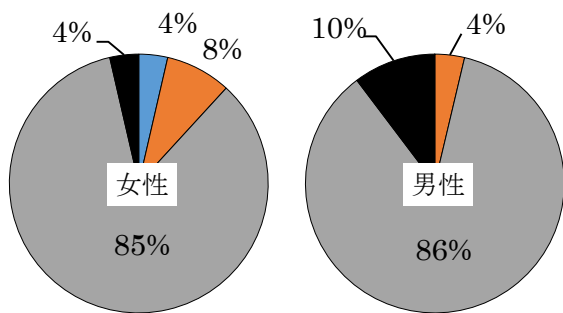


(2) 医師の治療が必要となる程度の暴力

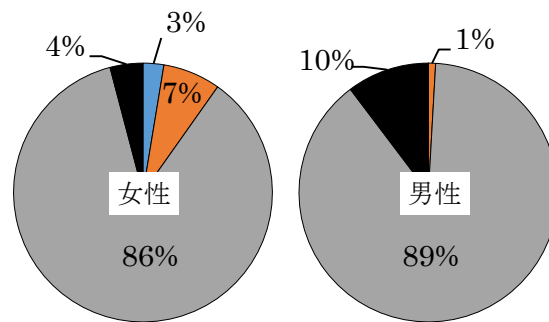


■何回もある ■1・2回ある ■まったくない ■無回答

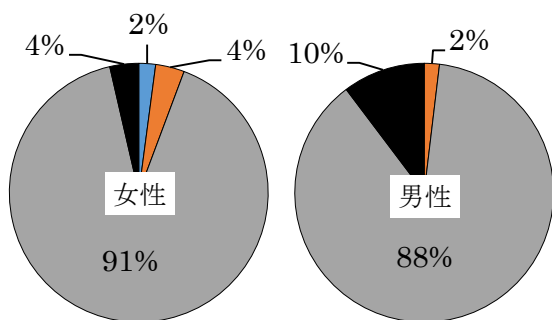
(3) 医師の治療までは必要ない程度の暴力



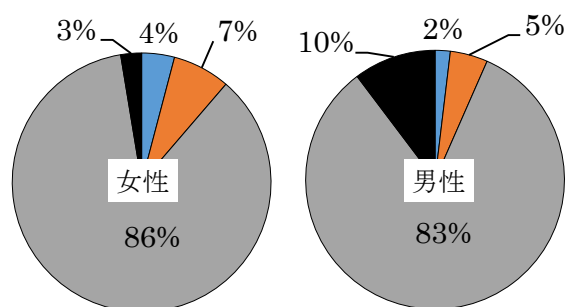
(4) 嫌がっているのに性的な行為を強要



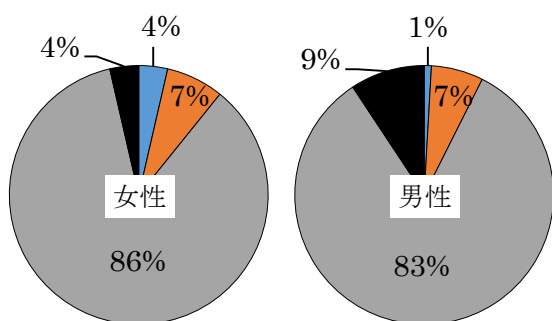
(5) 避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する



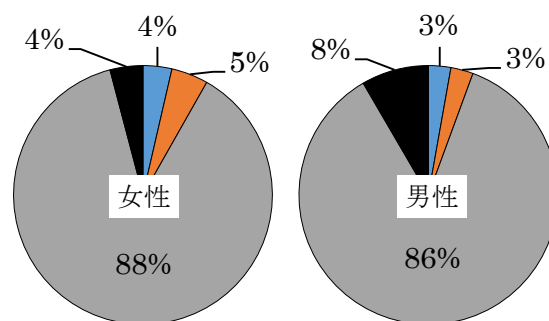
(6) 何を言っても無視され続けた



(7) 「だれのおかげで生活できるのだ」「稼ぎが悪い」などと言われたり、大声でどなられた

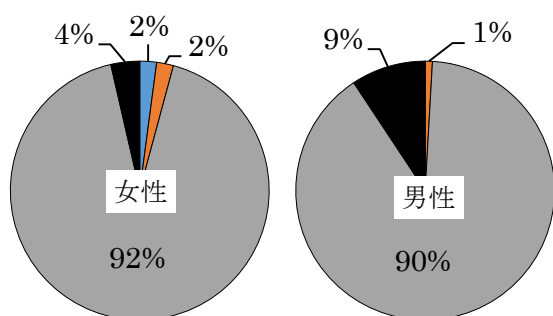


(8) 交友関係や電話、メールなどを細かく監視したり、頻繁に電話やメールをしてきて、すぐに返事をしないと怒る

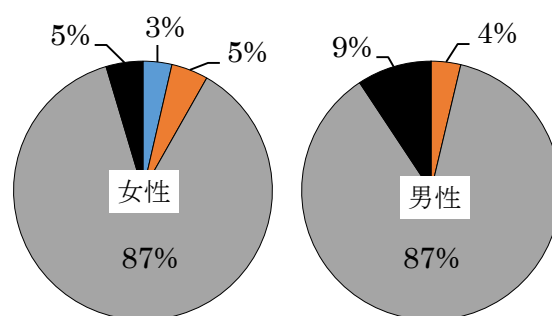


■ 何回もある    ■ 1・2回ある    ■ まったくない    ■ 無回答

(9)社会との関わりや働くことなどを許さない



(10)生活費を渡さなかったり、お金のやりくりを細かく報告させたりして経済的に押さえつける



■何回もある    ■1・2回ある    ■まったくない    ■無回答

それぞれの設問ごとで経験があると答えた人の割合はまちまちであるが、言葉や態度によるDVについては比較的割合が高めとなっている。男女で経験した人の割合の差が大きかった（「何回もあった」、「1・2回あった」の合計が男女で5%以上の差があった）のは、(3)、(4)、(7)であり、いずれも女性の方が多いという結果になった。

問16 【問14及び 問15でハラスメントまたはDVを「受けたことがある」と回答した方にお尋ねします。】

⇒なかった方は問17へ

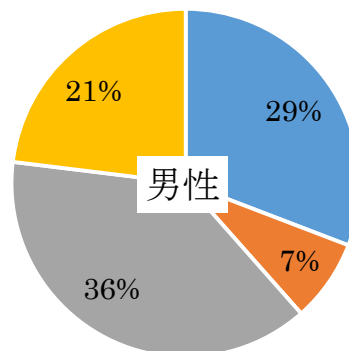
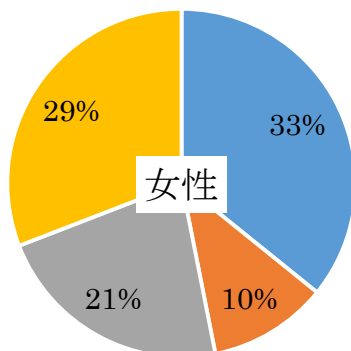
あなたはこれまでに、ハラスメントまたはDVの経験について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか？あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

【n=108（延べ数）】

	女 性		男 性	
	人数	割合	人数	割合
1.相談した	29 (+5)	33.3% (+8.6%)	8 (+8)	28.6% (+28.6%)
2.相談したかったが、 相談できなかった	9 (▲5)	10.3% (▲4.1%)	2 (+2)	7.1% (+7.1%)
3.相談しようとは思わ なかった	18 (▲31)	20.7% (▲29.8%)	10 (+10)	35.7% (▲51.3%)
無回答	25 (+15)	28.7% (+18.4%)	6 (+3)	21.4% (+8.4%)
合 計	81 (▲16)		26 (+3)	

⇒問 16-1 へ

⇒問 16-2 へ



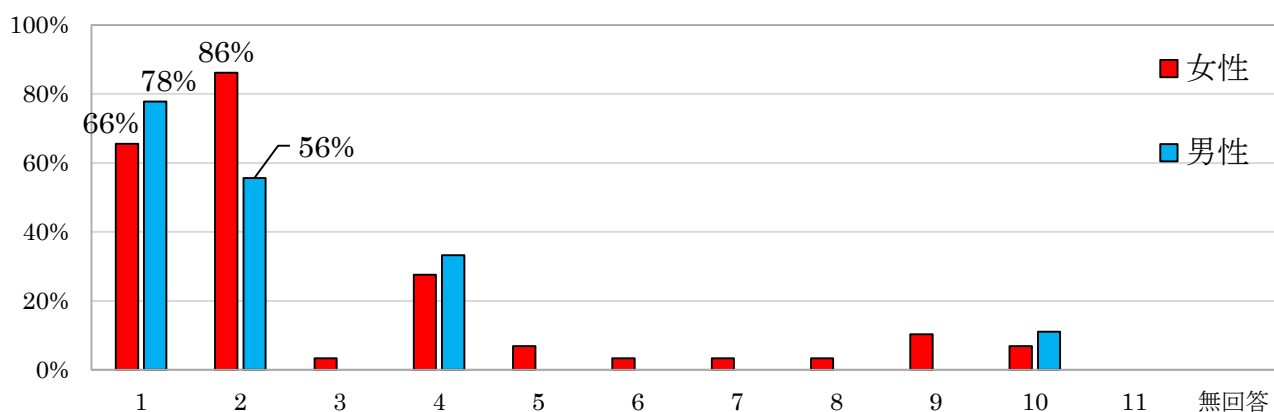
- 相談した
- 相談したかったが、相談できなかった
- 相談しようとは思わなかった
- 無回答

問16-1 【 問16で「1」と回答した方にお尋ねします。 】

あなたが相談した相手はどなたですか？あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

【 n = 80 (延べ数) 】

( ) 内前回比 ※前回は女性のみ	女 性		男 性	
	人数	割合	人数	割合
1.家族・親戚	19 (+3)	65.5% (▲1.2%)	7	77.8%
2.友人・知人	25 (+10)	86.2% (+23.7%)	5	55.6%
3.会社の相談窓口・労働組合	1	3.4%	0	0.0%
4.会社の上司・同僚	8	27.6%	3	33.3%
5.国の機関（法務局、労働局など）	2	6.9%	0	0.0%
6.県の機関	1	3.4%	0	0.0%
7.町役場	1 (増減無)	3.4% (▲0.8%)	0	0.0%
8.警察	1	3.4%	0	0.0%
9.民間の機関 (弁護士会など)	3	10.3%	0	0.0%
10.医師・カウンセラー	2	6.9%	1	11.1%
11.その他	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
合 計	63		16	



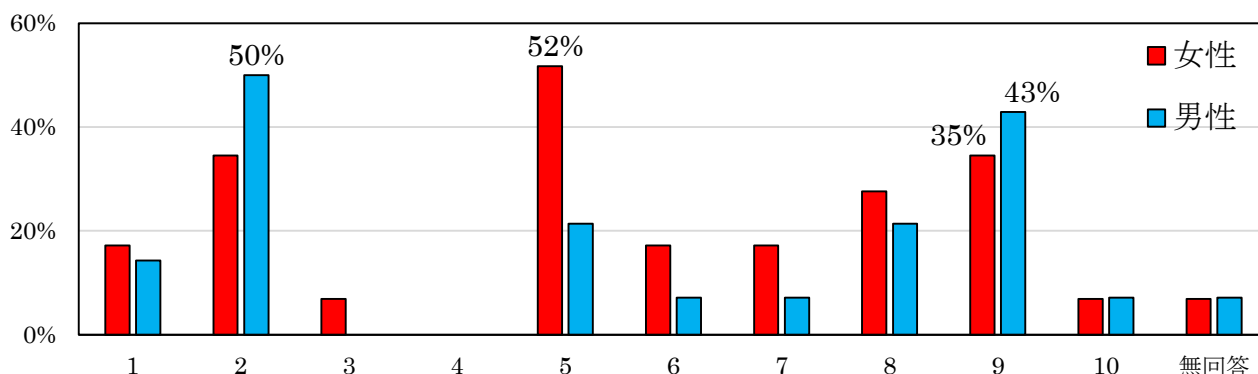
問16で「相談した」と答えた人の相談相手としては、第1位が「家族・親族」、続いて「友人・知人」となっている



問16-2 【 問16で「2」「3」と回答した方にお尋ねします。 】  
「相談できなかった(相談しようとは思わなかった)」理由は何ですか？  
あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

【 n = 89 (延べ数) 】

( ) 内前回比 ※前回は女性のみ	女 性		男 性	
	人数	割合	人数	割合
1.誰(どこ)に相談してよいかわからなかった	5 (増減無)	17.2% (+32.8%)	2	14.3%
2.相談しても無駄だと思った	10	34.5%	7	50.0%
3.相談したことがわかると仕返しされたり、もっとひどい暴力を受けると思った	2 (増減無)	6.9% (▲7.4%)	0	0.0%
4.加害者に「誰にも言うな」と脅された	0	0.0%	0	0.0%
5.自分さえ我慢すればよいと思った	15 (+6)	51.7% (▲12.6%)	3	21.4%
6.世間体が悪いと思った	5 (増減無)	17.2% (▲18.5%)	1	7.1%
7.他人を巻き込みたくなかった	5 (増減無)	17.2% (▲18.5%)	1	7.1%
8.自分にも悪いところがあると思った	8 (+3)	27.6% (▲8.1%)	3	21.4%
9.相談するほどのことではないと思った	10 (+8)	34.5% (+20.2%)	6	42.9%
10.その他	2 (+2)	6.9% (+6.9%)	1	7.1%
無回答	2	6.9%	1	7.1%
合 計	64		25	



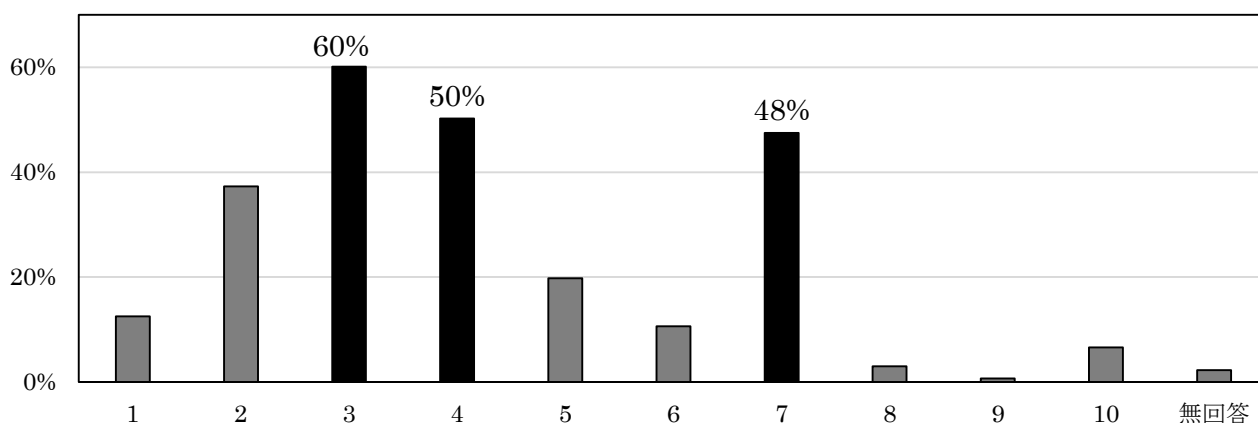
「相談できなかった(相談しようとは思わなかった)」理由としては、女性は「5.自分さえ我慢すればよいと思った」、男性は「2.相談しても無駄だと思った」が多く、次いで男女とも「9.相談するほどのことではないと思った」と続く。

**問17【すべての方にお尋ねします。】**

あなたは、ハラスメントをなくすために、どのような対策が必要だと思いますか？あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

【n = 759 (延べ数)】

選択肢	割合
1.企業トップの情報発信	12.5%
2.意識改革のための研修	37.3%
3.被害者が相談しやすい環境づくりや相談窓口の充実	60.1%
4.職場のコミュニケーションや風通しの改善	50.2%
5.人事・総務部門の取組みや対応の充実	19.8%
6.労働組合の取組みや対応の充実	10.6%
7.社会人になる前の家庭・学校における教育の充実	47.5%
8.その他	3.0%
9.とくに対応の必要はない	0.7%
10.わからない	6.6%
無回答	2.3%



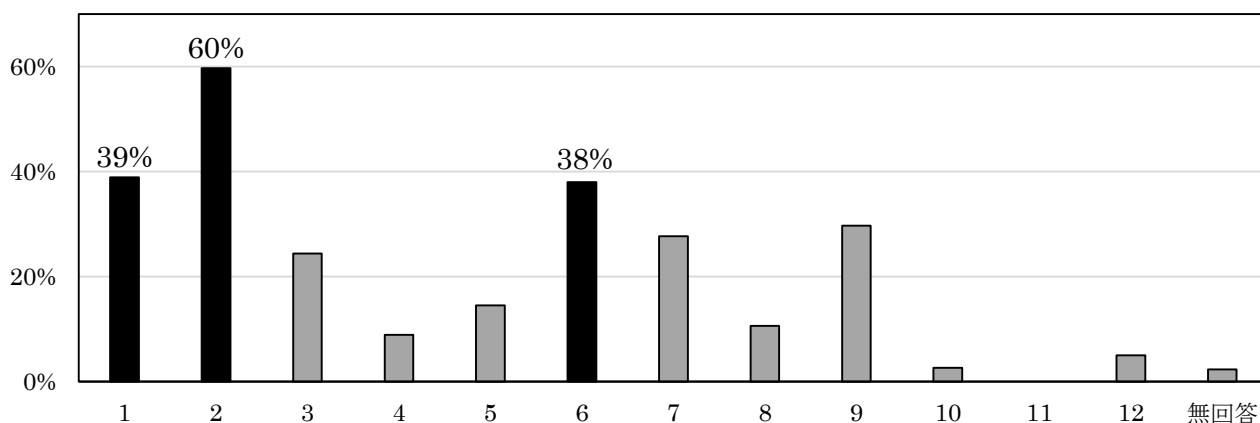
ハラスメントをなくすために必要と思う対策としては、第1位が「3.被害者が相談しやすい環境づくりや相談窓口の充実」、第2位が「4.職場のコミュニケーションや風通しの改善」、続いて「7.社会人になる前の家庭・学校における教育の充実」となった。

**問18** 【すべての方にお尋ねします。】

あなたは、DVをなくすために、どのような対策が必要だと思いますか？あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

【n = 795 (延べ数)】

選択肢	割合
1.家庭・学校における男女平等や性についての教育を充実させる	38.9%
2.被害者が相談しやすい環境づくりや相談窓口の充実	59.7%
3.行政や警察が啓発活動を積極的に行う	24.4%
4.テレビ・週刊誌等のメディアにおける暴力や性の表現について規制を進める	8.9%
5.過激なビデオソフト・ゲームソフトなどの販売や貸出を禁止する	14.5%
6.法律による規制の強化や見直しを行う	38.0%
7.犯罪に対する取締りを強化する	27.7%
8.捜査や裁判の担当者に女性を増やす	10.6%
9.被害者の避難場所（シェルター）を充実させる	29.7%
10.その他	2.6%
11.とくに対応の必要はない	0.0%
12.わからない	5.0%
無回答	2.3%



DVをなくすために必要と思う対策としては、第1位が「2.被害者が相談しやすい環境づくりや相談窓口の充実」、第2位が「1.家庭・学校における男女平等や性についての教育を充実させる」、続いて「6.法律による規制の強化や見直しを行う」となった。

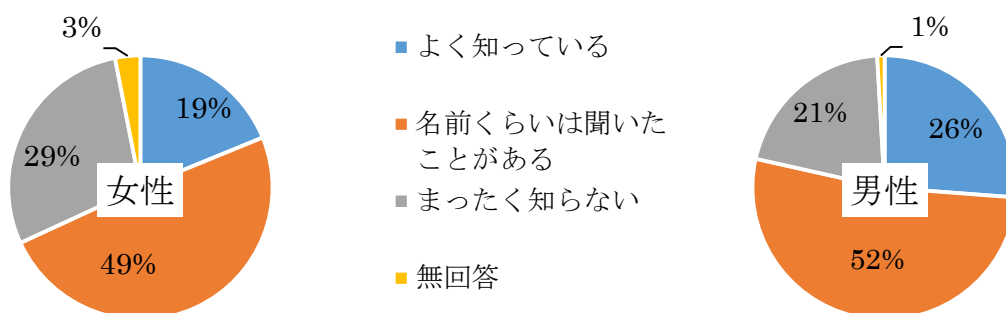
(5) 男女共同参画社会の実現にむけてお尋ねします

**問19** あなたは、次にあげる男女共同参画に関する用語をご存知ですか？  
 あてはまる番号に1つつ〇をつけてください。

【n = 303】

(1) 男女共同参画

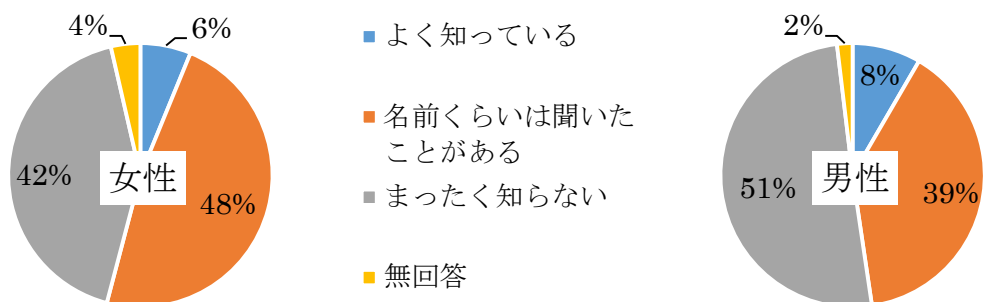
( ) 内は前回調査比	女性	男性
よく知っている	18.6% (▲4.6%)	26.2% (▲0.2%)
名前くらいは聞いたことがある	49.5% (▲2.7%)	52.3% (+1.6%)
まったく知らない	28.9% (▲7.2%)	20.6% (+1.3%)
無回答	3.1% (+0.2%)	0.9% (▲2.7%)



(2) 女性活躍推進法

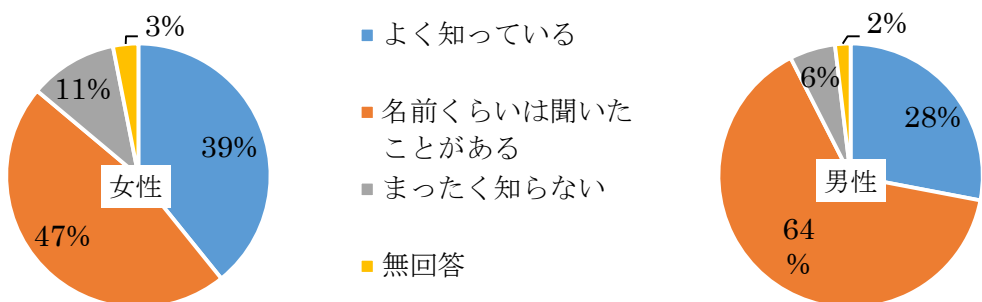
	女性	男性
よく知っている	6.2%	8.4%
名前くらいは聞いたことがある	47.9%	39.3%
まったく知らない	42.3%	50.5%
無回答	3.6%	1.9%

(前回調査時、選択肢無)



### (3) 育児・介護休業法

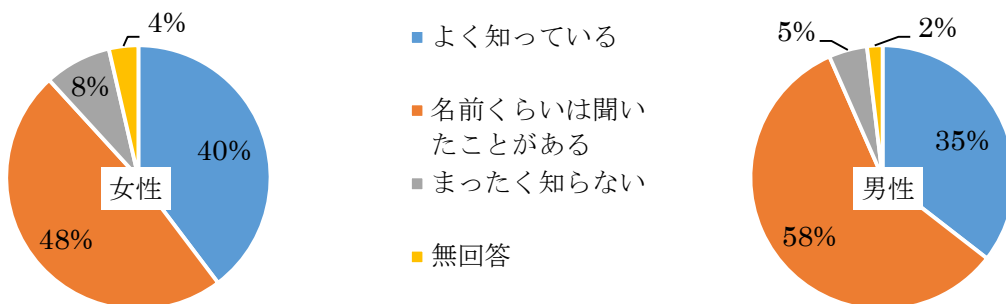
( ) 内は前回調査比	女性	男性
よく知っている	39.2% (▲1.4%)	28.0% (▲7%)
名前くらいは聞いたことがある	46.9% (▲2.9%)	64.5% (+9.5%)
まったく知らない	10.8% (+3.6%)	5.6% (▲0.8%)
無回答	3.1% (+0.7%)	1.9% (▲1.7%)



(4) 男女雇用機会均等法

	女性	男性
よく知っている	39.7%	35.5%
名前くらいは聞いたことがある	48.5%	57.9%
まったく知らない	8.2%	4.7%
無回答	3.6%	1.9%

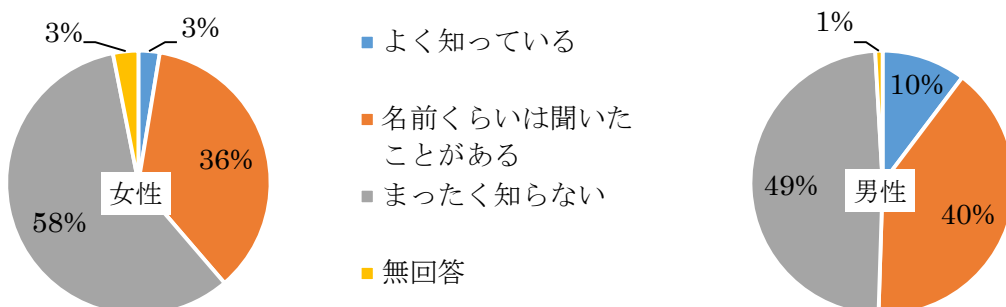
(前回調査時、選択肢無)



(5) 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律

	女性	男性
よく知っている	2.6%	10.3%
名前くらいは聞いたことがある	36.1%	40.2%
まったく知らない	58.2%	48.6%
無回答	3.1%	0.9%

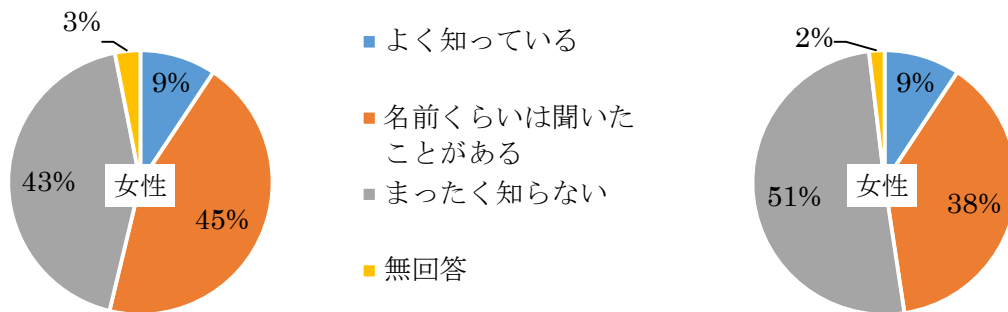
(前回調査時、選択肢無)



(6) 配偶者暴力防止法

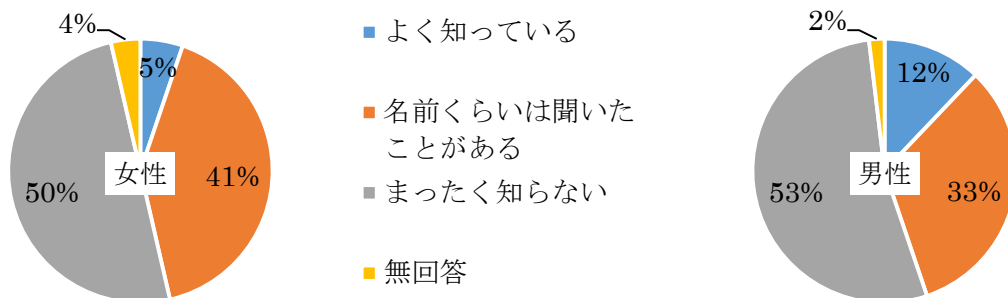
	女性	男性
よく知っている	9.3%	9.3%
名前くらいは聞いたことがある	44.3%	38.3%
まったく知らない	43.3%	50.5%
無回答	3.1%	1.9%

(前回調査時、選択肢無)



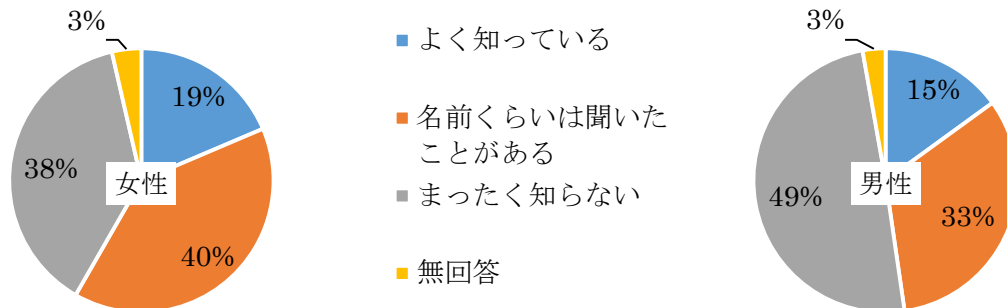
(7) 女性差別撤廃条約

( ) 内は前回調査比	女性	男性
よく知っている	5.2% (▲4.5%)	12.1% (+5%)
名前くらいは聞いたことがある	41.2% (▲8.1%)	32.7% (▲18%)
まったく知らない	50.0% (+11.8%)	53.3% (+14%)
無回答	3.6% (+0.7%)	1.9% (▲1%)



### (8) ジェンダー

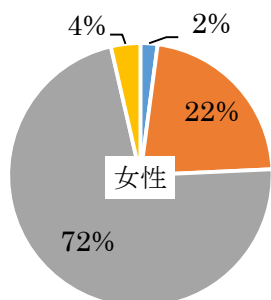
( ) 内は前回調査比	女性	男性
よく知っている	18.6% (+5%)	15.0% (+6.4%)
名前くらいは聞いたことがある	39.7% (+9.6%)	32.7% (+4.1%)
まったく知らない	38.1% (▲14.8%)	49.5% (+9.1%)
無回答	3.6% (+0.2%)	2.8% (▲1.5%)



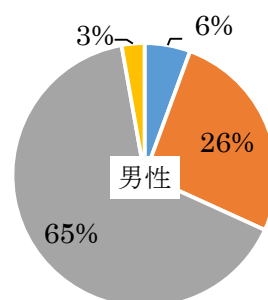
### (9) ポジティブ・アクション

( ) 内は前回調査比	女性	男性
よく知っている	2.1% (▲5.1%)	5.6% (▲2.3%)
名前くらいは聞いたことがある	22.2% (▲8.2%)	26.2% (▲11.7%)
まったく知らない	72.2% (+16.2%)	65.4% (+14.7%)
無回答	3.6% (▲2.7%)	2.8% (▲0.8%)



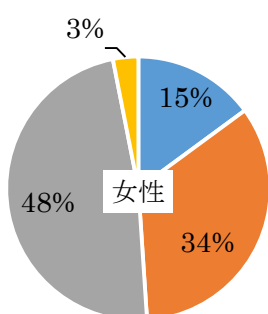


- よく知っている
- 名前くらいは聞いたことがある
- まったく知らない
- 無回答

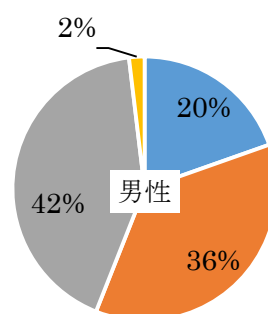


### (10) ワーク・ライフ・バランス

( ) 内は前回調査比	女性	男性
よく知っている	14.9% (▲0.1%)	19.6% (+5.3%)
名前くらいは聞いたことがある	34.0% (+3.6%)	36.4% (+0.7%)
まったく知らない	47.9% (▲4.3%)	42.1% (▲3.6%)
無回答	3.1% (+0.7%)	1.9% (▲2.4%)



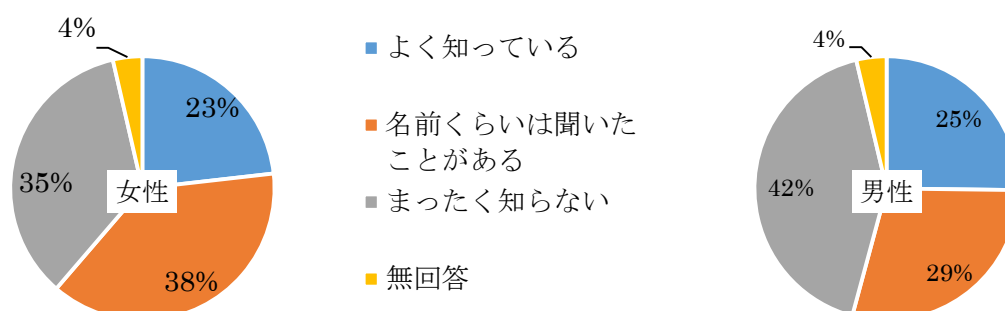
- よく知っている
- 名前くらいは聞いたことがある
- まったく知らない
- 無回答



(11) LGBT

	女性	男性
よく知っている	23.2%	25.2%
名前くらいは聞いたことがある	38.1%	29.0%
まったく知らない	35.1%	42.1%
無回答	3.6%	3.7%

(前回調査時、選択肢無)



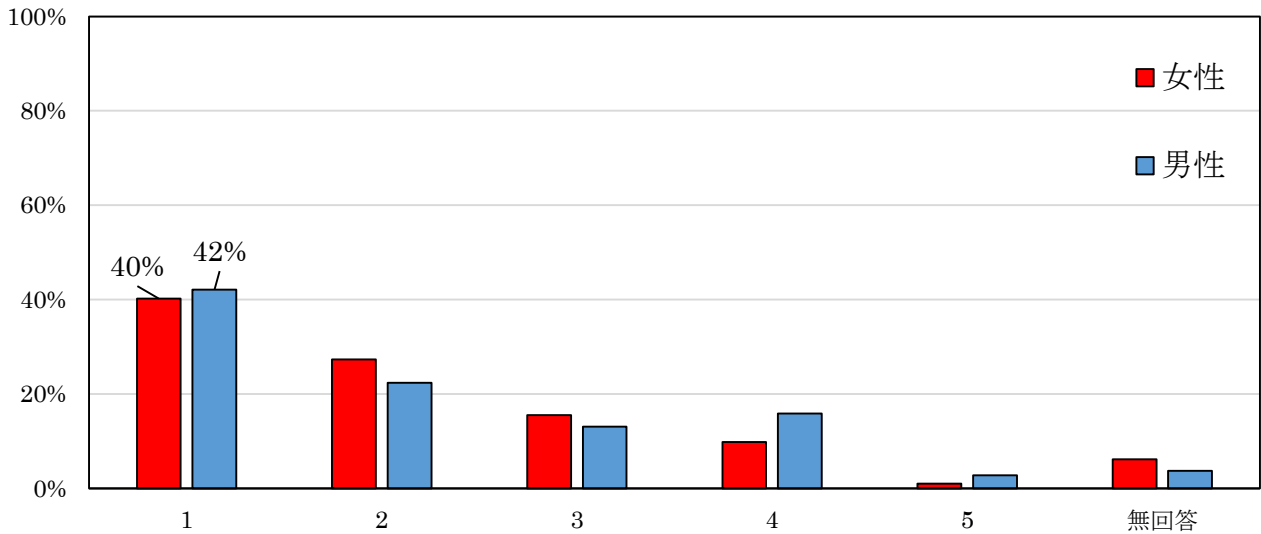
**問20** 政治をはじめ、企業や地域活動において女性の参画が少しずつ進んでいます。

しかし、我が国の女性参画は国際的に依然として低い水準にあり、国際間の男女格差を測る指数である「ジェンダーギャップ指数 2020」においては 153 カ国中 121 位であり、特に政治分野(144 位)と経済分野(115 位)が低い値となっています。

この現状を踏まえて、あなたは、今後、女性がより方針決定の過程に参画するためには、どのようなことが必要だと思いますか？あてはまる番号に1つ○をつけてください。

【n = 303】

	女性	男性
1.家庭・職場・地域における性別による役割分担や性差別の意識をなくす	40.2%	42.1%
2.男性優位の組織運営を変えること	27.3%	22.4%
3.家庭の支援・協力を得ること	15.5%	13.1%
4.女性の能力開発の機会を増やすこと	9.8%	15.9%
5.その他	1.0%	2.8%
無回答	6.2%	3.7%



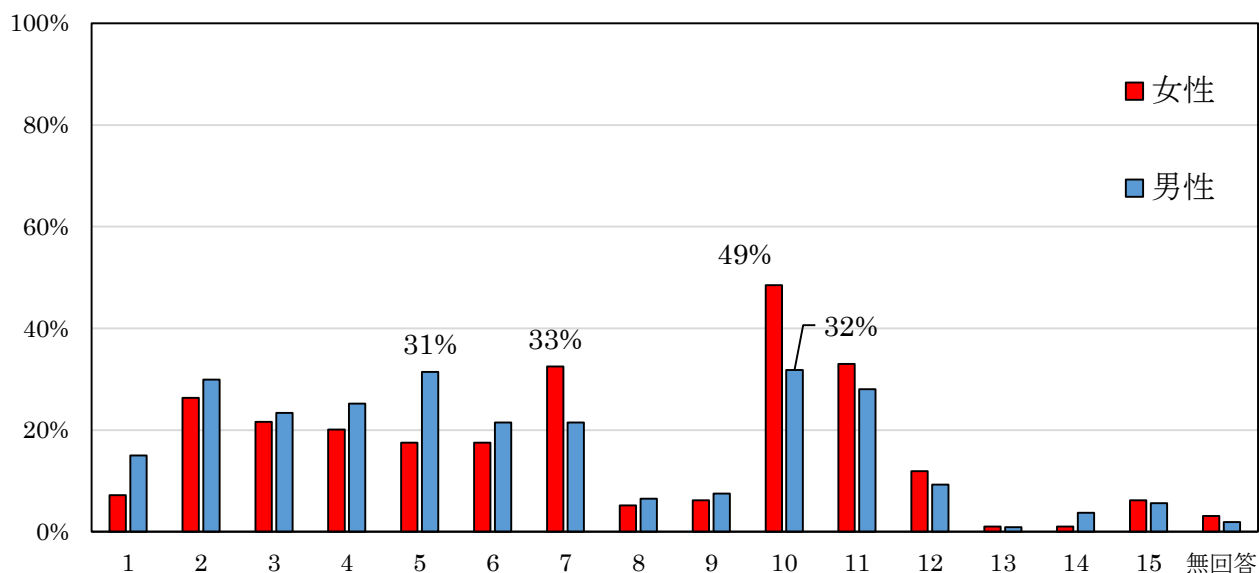
今後女性がより方針決定の過程に参画するために必要だと思うことは「1.家庭・職場・地域における性別による役割分担や性差別の意識をなくすこと」が多かった。

**問21** 今後、多度津町は、男女共同参画社会に向けてどのようなことに力を入れたらよいと思いますか？あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

【n = 789 (延べ数)】

	女性	男性
1.男女平等に関する講座・講演会の充実	7.2%	15.0%
2.学校における男女平等教育の推進	26.3%	29.9%
3.男女平等を目指した条例・制度の制定や見直し	21.6%	23.4%
4.審議会や管理職など政策決定の場への女性の積極的な登用	20.1%	25.2%
5.職場における男女の均等な取扱いについての啓発	17.5%	31.4%
6.ワーク・ライフ・バランスの意識改革	17.5%	21.5%
7.家事育児などに男性の参加を促進するための啓発	32.5%	21.5%
8.女性に対する職業体験などの啓発	5.2%	6.5%
9.女性に対する暴力の根絶と人権意識の啓発	6.2%	7.5%
10.子育て・育児に関する支援の充実	48.5%	31.8%
11.高齢者等に関する介護支援の充実	33.0%	28.0%
12.健康・福祉に関する相談の充実	11.9%	9.3%

13.その他	1.0%	0.9%
14.とくにない	1.0%	3.7%
15.わからない	6.2%	5.6%
無回答	3.1%	1.9%



多度津町が力を入れるべきことについては、「10.子育て・育児に関する支援の充実」が多く、女性は次いで「7.家事・育児等に男性の参加を促進するための啓発」、男性は「5.職場における男女の均等な取扱いについての啓発」と回答した人が多かった。

**問22** 多度津町における男女共同参画社会のあるべき姿を、簡単な標語やキャッチフレーズで表現するとしたら、どのようなものが考えられるでしょうか？思い浮かぶものがあればご記入ください。

たくさんのキャッチフレーズ誠にありがとうございました。今後の男女共同参画推進に当たってのキャッチフレーズの参考とさせていただきます。

(以下 順不同)

こういう事を考えなくてもいい環境に早くなるといいですね。
第一歩 踏み出す力が 変える力に
男女の区別なき能力主義（但し、能力の査定方法 評価基準の明確・可視化が必要）
性の差に違いをなくそう 今だから
性の差に違いは無いよ 今この時（今だから）
男女の差なんてなくなる 今からは
男女の差なんて無くそう 今この時
皆協力、手を取りあって前進だ
男女の差なんて無くそう 多度津から （多度津町 性差解消 先進地 宣言！）
多度津から始まる新しい生活
たどつからみんな笑顔の新生活
多度津から始まる男女協力の輪
たどつからほほえむ笑顔送ります
多度津から始まる男女の協力！
たどつからみんなの笑顔送ります
多度津から男も女も笑顔発信！
新しい笑顔のかたち たどつから
男女の差 なくしていこうたどつから
男の子女の子 みんな笑顔だ 多度津町
男女協力 今 多度津から発信！
多度津の子みんな笑顔だ幸せだ
今だからみんなほほえむたどつ町
多度津町 みんなの笑顔発信地！
みんなが笑顔 多度津町
多度津から笑顔が広がる津々浦々
たどつは男女協力の地です
たどつ町男女協力の町宣言！
なくそう個人能力の偏見

今一步 つき進もう、みのりある男女共同参画の町づくり！
男も女も共同体→心を1つに！
男・女ではなく人が輝く社会に
皆んな仲よし多度津
子どもはみんなで育てるもの。年よりはみんなで守るもの
あなたらしさを認めあえる社会をめざして
男女？あ～昔はそういう風に分けてたらしいね（笑）
明るい楽しい多度津
子供も老人も住みやすい多度津。
台風・雷雨が少ない多度津。
海・夕日が美しい多度津
老若男女助け合い
まずは女性自身が意識を変えないと、与えられるのを待つのではなく、勝ち取りにいかなくては。その前に能力のある女性、必要とされる女性は黙っていても社会に求められます。
ガンバレ多度津
家庭・育児・介護に男性の参加を！高齢者の介護支援の充実を！
見よ 町の若者よ
あなたと私 共に働く（又は、ともに子育て）明るい多度津
桜咲く 人のまち 多度津町
無くそうよ、男女差別は 多度津から！！
尊敬・尊厳・尊重(人をうやまい、相手とよく話し合い、人権を重んじる)
育児は夫婦でしょう
笑って話せる関係
区別なく 発言できる 多度津町
始めの一步 みんなの一步
やる気があれば性別なんて関係なし
男女とも家庭も社会も共同で
男と女 家庭と社会も共同で
美しい海
ワン フォー オール、オール フォー ワン
あなたの力を多度津で活かそう
男だから女だからもうやめよう！！
第4次たどつ男女共同参画プラン
あなたも、私も、大事な社会の一員
安心で安全な人間社会を造ろう
安定的な職場社会を造ろう

マタニティを大切にしましょう
子供たちをやさしく守ってあげましょう
生命（いのち）に男女の違いなし。差別は生命の危機招く。
ジェンダーレス 皆が笑って過ごせる世の中に
思いやり、一人一人の意識から
男女共同参画社会、子供から大人までわかりやすく、見えるかたちで問題提起。見えるかたちで変革発表
ワンチーム（チーム多度津）
生きづらさ みんなで変えよう この町で

**問23** 最後に、男女共同参画に関することや、あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがありましたら、率直なお考えをご記入ください。

貴重な御意見ありがとうございました。  
 今後のまちづくりの参考とさせていただきます。  
 （※原則として原文そのままを掲載しております。）

●	100円バス。高齢者が病院・スーパー等の交通手段。多度津町だけない。
●	男女平等とはいえ、女性には「出産」という大きな仕事があります。この「出産」で体力の低下や、情緒不安定などいろいろな問題をひきずり、自信喪失にもつながっていくケースもあるかと思えます。男女平等・対等・・・たいへんです
●	理想にはある程度時間がかかると思う
●	移住を中心に人口を増やす事が大切だと思います
●	中国への研修・親善活動は即刻中止すべき。ウイグル・チベット・内モンゴル・香港問題 1党独裁を知っていながら・・・恥を知れ。ハニートラップをやめなさい
●	介護保険が高すぎる。所得に対する比率が馬鹿げている
●	今ある課題に対する対応能力が無さすぎ、遅すぎ。洪水、コロナ、介護、老人が病院に行けない etc
●	外国人労働者が無計画に増加しているのでは？
●	高齢者にとって住みやすい環境作り
●	男だからこうしなければならないとか、女だからこんなことはできないとか、そういう考え方をする人を減らすようにしなければ、男女共同参画は実現できないのではないかと思います。仕事場では、平等に色々な仕事をする機会を与え、家庭では、夫婦がお互いできることをし、支え合っていければいいと思います。育児休業の取得も、

	<p>大手の企業等では受け入れられてきていると思いますが、現実には難しいです。有給休暇さえも5日間取得できていないのが現実です。こういった企業への指導や、そういう企業がなくなるような調査をしていって欲しいと思います。(町の行政のすることではないのかもしれませんが。。。)</p>
●	<p>町役場から率先して男女の格差改善を示す</p>
●	<p>一歩前を進む前に・・・町としての町長及び他の議員らの今(現状)をもっと掘りおこし、町民にわかりやすい行政。男女共同参画というのは口では言いやすいが、実行力を持った部門部門をもっと明確にして研修していかないと、何年たっても振り出しのまま一歩も進まない。※年代別の集会等で議論しあう。</p>
●	<p>共同参画アンケート拝読してすばらしい意味あるものと思った。でも、これが必要とした人に当たればよかったのにと。町が聞いてくれる・・・知らない人が多いと思う。質問箱を置く等。答えられる解答を広報に記載するとか。希望を持つ前進できそうな・・・家庭が各過疎化しているのでいいアドバイスになるかも。勝手な事を書きました。</p>
●	<p>それぞれの家庭の形があていいとは思いますが、子育てをしている人は1人だと大変だと思うことがあると思います。パパ・ママが協力し合えて大変だけど楽しく子育てできるまちづくり、一緒に参加できるようなイベントなどがあればいいなと思います。</p>
●	<p>男女共同参画社会のためにと、役職等の人員の数(男女比)を合わせたり、女性の参加を増やそうとする試みは大切かもしれないが、それを強要するような形で女性をむりやり社会に連れ出し、家庭環境への配慮もせず、生活に負担をかけるようなやり方はやめるべきだし、まずは、男女共に言えるが、生活(家庭)への支援や安定した生活の環境づくりを優先する事が、男女共同参画社会の実現にむけた第一歩になるのではないかと考える。女性の活躍を望むならば、なぜ活躍できないかを考えて、その現状を改善していかなければいけないと思う。コロナの対策等大変なことと思いますが、町民のために宜しくお願い致します。</p>
●	<p>70歳近くになるとテレビでも横文字のキャッチフレーズが多いが、日本語で表現できる事は、日本語がわかりやすい。</p>
●	<p>私はもう高齢なのでこのまま安定した生活を続けていければと願うばかりですが、次の世代の人たちがこの町に生まれ育って良かったと思えるように感じてもらいたい。行政には他との交流を深めよいところはぜひとも吸収して欲しい。</p>
●	<p>男だから女だからという枠ではなく一人一人が適材適所の場所を見つけられる事が大事だと思う。それは小さい頃からの教育の場で個人を大切に知るという考えをしっかりと学ぶことが大切だと思う。学校教育の中で、行事での役を子ども全員で考えさせて、一人一人の良さを認識させたり、その上で男の人が得意な事、女の人が得意な事で助け合ったりする心の教育の充実が大切だと思う。そして今起きている問題が隠れてしまう事のないように、相談窓口が皆の近くにあればよいと思う。</p>
●	<p>男だから女だからという枠ではなく一人一人が適材適所の場所を見つけられる事が大</p>



	<p>事だと思う。それは小さい頃からの教育の場で個人を大切に知るという考えをしっかりと学ぶことが大切だと思う。学校教育の中で、行事での役を子ども全員で考えさせて、一人一人の良さを認識させたり、その上で男の人が得意な事、女の人が得意な事で助け合ったりする心の教育の充実が大切だと思う。そして今起こっている問題が隠れてしまう事のないように、相談窓口が皆の近くにあればよいと思う。</p>
●	特にナシ
●	子育て、育児の支援は充実しつつありますが、本当に大変なのは高校・大学なので、この年代の子供達にも支援が必要だと思います。
●	いつまでも車の運転ができない年齢になってきているので買い物難民にならないよう、バスなど町内に走らせて欲しいです。
●	主人がなくなり年金だけの生活になりました。年金がわずかしかなくこれからの生活に不安を感じています。益々年寄りが増えて皆生活に不安を覚える人が多いと思います。養老院等お金がなくとも心配せず暮らせる町になるよう望みます。(年寄りばかり増えて子どもを育てられないというのもつらいですが) どちらも良くなるよう望みます。
●	まだまだ昭和を思わせる封建的な家庭もあると思います。が、時代の流れで主人が家庭に自慢の料理を食べさせる、奥さんがパートのつもりで仕事を始めて気がつけば企業になくってはならないひとになっている。今の若い家庭を見るとお父さんがオムツを替えてミルクを飲ませている。男女共同参画社会は時代の流れと共に自然にできつつあると思います。町の行政にあっては、子どもの通学路の安全確認、海外就労者の自転車教習等もっと身近で現実的なことから着手していただきたく希望します。
●	私が支援2、主人が支援3と介護2で2人きりで頑張っていますが疲れます。
●	会社のシステムを全て変えないと女性がもっと社会に出る事は無理。女性の給料が低すぎる。男性と同じ金額を稼ごうとすると副業しても厳しい。無理。その分時間をとられ、家庭のことができなくなる。男性全てが家庭のことに参加できる18時ごろには帰宅しないと、家族としての男性の役割がATMにしかならない。子供が幼い頃にしっかり父親も接していないと大きくなってからは相手にされない。全てが妻の仕事になってしまい、仕事との両立ができなくなる。
●	男女平等の社会など、この先もくることはないだろうと思う。たださえ、夫の協力不足などにより、シングルマザーが増えている世の中で、シングルマザーの働き場が確保されているかといえばそうではない。面接に行く度、協力者がいるかの質問や、実家は近いのか、迎えの時間、子供が熱を出した時の対処法などを聞かれる中で、平等だとか、女性の地位を上げるだとか、そんなことの前にやるべきことはたくさんあると思う。夫が仕事で週に何日も家をあけてしまう家庭だってあると思うが、そんなことを理解してくれる企業は少ない。
●	初めての子供で保育園にあずけて働きたい場合の条件や流れ等、調べてもよく分かりません。子供が走りまわり、さわぐので市役所等へ聞きに行くのもむずかしいです。また引っ越してきたので周辺のこと本当によくわかりません。一時保育なども

	もっと増えればいいなと思います。
●	性別に関係なく、制度の存在、使用方法が浸透していない事が問題ありだと思います。個人がかわっても、会社・行政・両方が同時に行動をしないと意味がないと思います。
●	町の野焼きをやめさせてほしい（罰則の強化など）規則がゆるすぎてなくなる。農家とかなら分かるが家庭でしている畑で出た草や木を燃やしているのに重大な法律違反ではないからというのは納得いかない。
●	高齢者が増え、病院に行くのにタクシーを使うとお金が多くかかるので、便数は少しでもいいので町営バスがあればいいと思う。
●	旧町内をもっと活気あふれるような事を考えてほしい。だんだんさびしくなっている。特に役場・福祉センターが遠くなると行きづらい。
●	年をとると何もできなくなるので若い人が週一回たすける日をもうける。そして週一回町のそうじをする。
●	必ずしも全ての職業や役割で男女比が均等になる必要はないと考えています。それぞれの職業や役割について、希望と現実にギャップがあるもの、特にその中でも男女のギャップの大きさに開きがあるものについて、重点的に対応するのが良いのではないかと思います。
●	過疎化の改善
●	現在は車の運転ができる両親だが、あと数年すれば2人共に75歳を超え運転が心配になる。近くの市で周っている様な、気軽に乗降できるバスがあればよいと思う。また、丸亀市にある蓮池公園のような、子どもの遊具、散歩道 広場の備わった公園が町内にできれば、町民の憩いの場となり良いと思う。
●	妊娠、出産、育児が、女性の社会進出に及ぼす影響は大きい。男性の家庭での役割、育児参加の平等性を図る事が大切だと思う。また保育所の充実と待機児童をなくして欲しい。特に育休明けの途中入所がほぼ皆無であること。その為育休を延長せざるを得ない現状があること。きちんと現状調査をして改善して欲しいですネ。
●	町外から転入してくると、強く感じるが、排他性が強い。(県外)「ムラ社会」を感じる。都市部には無い雰囲気がある。⇒開かれた町(精神的な成長)づくりが必要。
●	もっと子育てがしやすい町にして欲しい。近隣の市町よりかなり制度等が遅れていると感じる。
●	ネコの島にいるネコ達の避妊・去勢をして健康管理をして欲しいです。
●	ドッグランを作って欲しいです。
●	もっと町民に対して金銭的に還元すべき。県内の他市町をよく知るべき。役場の職員の上から目線の意識を改善すべき。私は他市から転入してきましたが、この町はとても住みにくいです。まずは役場の人から正すべきではと強く思っています。親切心をもっての対応など、初歩的な点から改善すべきです。
●	男女の差もある、昔から住んでる住んでないの差もある。そもそも「男女」の言葉は

	もう時代に合っていない。その時点でまだまだ変わらないんだと思った。
●	今回コロナの件で他の市や町に比べると子どもの待遇に差があるなと思いました。もう少し良くていいのかなと思います。(給付金)対応が早かったのは良かったです。メールで予定や行事が来るのは分かりやすいのでこれからもメール配信はお願いしたいです。
●	すでに人生を終わろうとしている自分にとって、今までなんとなく生きてきたが。社会がもっと充実のある生活をするには、「人は皆、友達」と生まれた時から環境思想を持つことだと思う。
●	稲作においても、機械でやる仕事が増えてます。女性にできる仕事は、どんどんやってもらおう。水入れ、草刈、稲刈り、田植え。自分でできる事は、進んでやってもらおう。フォークリフト運転とか、クレーン運転、溶接作業、町が後押しして教育訓練する！
●	たどつ町にもっとお店を増やすしくみづくり。たとえば、パン屋さんをいくつか、スイーツ店をいくつかなど。たどつは丸亀にも近く、西讃にも近く、通過される町ではなく、立ち寄れる町にする。パンストリートとか・・・うどん・ラーメン・・・それを前面にたどつをアピールする。多度津を、鉄道・桜・少林寺・〇〇〇グルメ？でアピール。子育て支援はがんばってくれているので満足しています。散策できる町。駅前→本通→少林寺 何かコースを作る。店・体験・・・。
●	男女共同参画は大変良いと思う。
●	質問と異なるかもしれませんが、私は、いつも思うことがあります。私事ですが、いろいろな地方の役場に行ったことがありますが、多度津町役場の方々ほど活気や親切なところはありませんでした。いつも素晴らしいです。頑張ってください。
●	身近に LGBT の方たちはたくさんいます！みんな知らないだけ！日本はおくれている！
●	男女共同参画と言われ、時は流れ、昔と比べるとよくなったと思います。しかし女性には妊娠・出産・子育てという時がありますので、仕事を離れる人がいるのも現実です。今は新型コロナウイルスに対して、人々の生命をどう守るかが一番の課題ではないですか？高齢者が多い町ですが、労働している人達に若い人が多いのも現実です。故に今後の不安は無症状だったり軽い人が動く事で広がらないかということです。例えばマスクは店の中、とくに食品を扱うところでは付けてほしいですが、付けていない人まだ多いです。接触感染防止のためマスクつける、手指消毒プラス買うものだけ手にとるなど知ってほしいです。基本的に一人一人ができる事は多くあります。が、伝えられてないのが現実です。行政の現場は忙しいでしょうが、人の生命を守ることへの対策を考える事は最優先ですのでよろしくお願いします。正しい知識をたくさんの人に理解してもらい、感染症対策を誰もが心がけて生活していけるよう啓発の工夫、大変でしょうがお願いします。 台風や大雨の際の避難場所での行政の人間の役割は何ですか？見直しをお願いします。避難しても毛布なく、水もなく、使いたいトイレは汚い、多中は以前こんな時ありま

	した。2又は3年前です。避難者が少してこれだったと聞きました。次はコロナ対策もあるのですが大丈夫ですか？
●	子供のしつけ等は家ではなくて学校教育等であると思いますが、先生が子供に負けてはいけないと思います。今は学校教育がとても大事だと思います。今後共よろしく願います。多度津町住民の一人です。
●	男女共同参画社会の法律はあるが、これを守られていない会社が多いように思う。
●	下水道処理施設の充実。
●	ヒエラルキーな組織体制ではなく、球面体構造の組織へと変えていくこと。
●	多度津町がもっと明るく活気のある町になる様望みます。
●	図書館に紫外線殺菌の本、消毒装置を設置して欲しい。コロナ対策で、乳幼児・老人等が安心して本を読めるので・・・。(他都道府県では、一部導入済でうらやましく思います。)
●	水道事業が統合できたのですから、市町もさらに合併を進めていただきたい。合併ができた住民の意見も調査してみればいかがでしょうか。
●	子育てしやすい町づくりを希望します。
●	女性や障害者が活躍できる組織作りや支援をお願いしたい。
●	将来に向けて・公共交通の整備（コミュニティバスなど）・町内の空き家の整備(活用・取り壊し)・多度津町の人口のドーナツ化現象を考えるべきです。
●	「妊娠」「出産」「子育て」全てを多度津で完結することが現状では厳しい。たとえば、多度津町に産婦人科が無いこと。出産しようと思っても一人親家庭の場合、どうやって病院へ行く？タクシーは対応してくれなかったと聞いた。子育ては？0歳児を預かってくれる保育所をもっと増やしてはどうか？女性の社会復帰が早まるのでは？子供を作ろうと思うと、他の市町村への移動をどうしても考えてしまいます。多度津に残りたくないような行政の対応を望んでいます。
●	男性の“育児参加”という考え方が時代遅れだと思う。夫婦でするものなので男性だけ参加するといった言葉になることがそもそも違う。
●	子育て支援に力を入れて欲しい(給付金、子どもの遊び場(公園・センターなど)ふやす)
●	公共の場の環境整備をしてほしい(池のまわりの柵や植物、公園、ごみ収集、見直し、改善)
●	地域の人との交流の場をふやす(スポーツ支援センター、子供同士のやり取りできる場)
●	非課税世帯のみ商品券が買える等、現行の多度津は限定的すぎ。子育て世代に限らず、介護世代等もっと金銭的に助けになるような制度・仕組み・手当を厚くしてもっと住みたいと思えるようになる事を願います。綾川や坂出にできて多度津はなぜできないのか？
●	仕事を退職してからも働ける環境があればいいかなあとと思います。シルバー人材セン

	<p>ターとかで今までした事を経験を生かしていける仕事があれば健康なうちは働きたいと思っています。今年はコロナで花火大会ありませんが、毎年楽しみにしていますので、これからもずっと花火大会があることを願っています。後、医療関係も充実してコロナが早く収束する事を願うばかりです。</p>
●	<p>女性が社会で活動しやすくするような環境整備がもっともっと必要と思う。たとえば女性の家事負担を軽くし、その分男性が負担するのがごく自然であるといった環境づくりが大切である。それには政府をはじめ、各官庁、特に国民に一番身近な市町村役場は、先頭に立ってPRに努め、自らも率先して出来ることから実行し範を示すべきと思う。男性の育児休暇制度もその一例と思うので是非実行してほしい。</p>
●	<p>令和2年の豪雨。多度津町の川の対策は？</p>
●	<p>高齢化社会の世の中、町内ぐるっとバスの運行は実現化しないのでしょうか。町職員がボランティアで地区の行事に積極的に参加される事を望みます。清掃奉仕、交通立哨、溝さらえ、祭り事 etc</p>
●	<p>ゆめタウンから四箇の方へぬける道がいつまでたっても完成しない。細い道しかなく対向がすれ違うのが危ないので早く完成してほしい。 子どもが遊ぶところがない。新しい役場にはいつでも子供が行って遊べる場所があればいいと思う。電車を見たり。図書館も新しくしてほしい。</p>
●	<p>国も地域も昔よりはとても自由になったように思いますが、封建時代から後の歴史はまだまだ浅くて男女差別が顕著で、保守的意識が強いように思います。女性も自由に発言できる場所が出来ると良いと思うがやはり男性を立てなければの空気が強いのかと感じる事があります。男女が平等に活躍できる時代が来ることを望みます。</p>
●	<p>行政にスピード感を持ってほしい。</p>
●	<p>むつかしい内容でした。</p>
●	<p>男女共同参画においては地方議員とはいいながらも、町議会議員の女性議員の数も1人増えました。また町役場でも能力があれば前任者もそうだったが、女性が健康福祉課長にまでなって、その課の意思決定権をもたせている。また女性の自治会長もわずかながら見受けられる。 去年を振り返って自治会長の1人として多度津地区の防災訓練をバラバラにやるのではなく、責任者が何度か勉強を重ねながら将来的には町の方から提案があり、その経費については町が負担すると共に、訓練も今年1月に1度やりました。その他交通安全を守る会や、河川の事について会合等や豊原農村婦人の家や、町総合福祉センター・健康センター2階多目的ホール、やっと再開された7月15日(水)災害時の健康管理について(大塚製薬株式会社)保健センターに参加させていただきました。それと昨年は多度津小学校の校長先生から何度か子供様関係のことやその行事があった時に、子供様の様子を見にきてほしいという手紙を何度かいただき、そのたびにおじゃまさせていただきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止予防の緊急事態宣言が解除されて、学校の方も再び子供様が登校するようになって間がないからだと思うのです</p>

	<p>が、今の所おそらくコロナの影響等で何も便りがありません。自治会長でありながら2年目は定期的な月2回の配布物及び回覧及び7月より再開された健康づくりセミナーへの参加等に終わってしまいましたが、これからも参加できるものは参加しようと思っています。自治会長として2年目にプラスになったことはどの班の班長さんも旦那様任せにしている所が多い中、もちろん自治会長が中心とはなりますが、そのうちには奥様が会計を担当しているため、毎月月末ごろには電話で呼んでその月の会計のチェックもしてくれると共に、その班のこの取りまとめ助かると共に1人の女性を育てる事ができ、まさに男女平等になっており今年度のプラスの1つになるため、他の班も少しは見習ってほしいものです。自治会長としての活動が新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動中止となるなかでの大きな収穫となりました。施設検診にしても胃がん検診は7月に入ってから新型コロナウイルスのためストップしていたのが、検診をはじめ町民税非課税の手続きはとっているものの、東京中心としての新型コロナウイルスの感染拡大がものすごく増大しているため、しばらくは検診を受けずに様子を見る予定です。とにかく自分の生活の中で、今年だけかどうかわかりませんが一刻も早く新型コロナウイルスが終息してほしいものです。</p>
●	<p>理想を追い求める企画だけでは役に立ちません。アンケート結果より、自分に置き換えて考える方が役に立つ気がします</p>
●	<p>今でも男は仕事、女は家庭と考えている古い人間ですが、若いうちは男女とも仕事をするのもいいでしょう。その仕事をするという環境の中から、女性が人物発展をさせていくのもいいでしょう。男性も女性もその時々々の立場、役割をふまえて、休止するか続けるか考えればよいと思います。</p>
●	<p>男性有利的な日本独自の考え方を変えていくのは難しいとは思いますが、世界を通してみてもこの世界には男と女しかいないのだから、性別で分けるのはおかしい。人間であるという事に意識を向けて、差別はなくすべき。</p>
●	<p>年功順的な行政の人事を見直して欲しい。行政は偉いという職員の意識を変えていかないと町はよくなる。</p>
●	<p>母親が働いている時に、父親が子供をつれて遊べるような公園（少し大型で遊具があったり、水遊びできる場所）がもっと欲しい。遊べる公園が多度津にはない。他の町のように子育てがしやすい環境を作してほしい。</p>
●	<p>住民環境課の男の子はものの言い方が悪い。多度津町役場の方は住民のために何か役立つ事してありますか？私は苦情を言ってもきいてくれなかった。多度津ではさびしくて住めません、ハッキリ言って！涙が出ました。結構悪い人多いと思いますが、そんな人を信頼できますか？私にはできません。</p>
●	<p>多度津町内に公園や行事等、県外の人に来てもらえる施設があったらいいとおもう。</p>
●	<p>男女共同参画については、人それぞれ成長過程、家族状況、生活環境が違うなかでよりよいものにしていくためには、一人一人が考え方、行動を変えていくことが大事だと思います。しかし、もっと大事なことは、社会や会社など、組織においては力のある者、権力者が考え方、行動を改め、導いてくれたならば、男女共同参画などはたや</p>

	<p>すいことだと思えます。町の行政については、議員の方々、町役場の職員の方々などにほぼおまかせ状態なので、真剣に町をより良くしようと考え、行動されている方には感謝したいと思えます。また町民としてしなければならないことがあれば、積極的に参加すべきだと思えます。</p>
●	<p>地域保護ネコ活動について。 野良猫の避妊、去勢の補助拡大。 広報などに里親募集の掲載。 個人での保護活動がほとんどの為、もう少し町で取りまとめてほしい。 話し合いの場を設けてくれると助かります。(情報交換ができる) 譲渡会の場所提供</p>
●	<p>遊び場があり、海水浴場があったり子供が寄ってくるような町に。まんのう町ではカリン公園、宇多津町では臨海公園など、遊具がある公園で子育てしやすい町にして人口を増やす。</p>
●	<p>DVについては女性が強調されがちですが、男性も女性またはパートナーからのDVが増えてます。「こんなもんだろう」という思い込みから「これはDVかもしれない第三者の意見を聞こう」という考えは、被害者にはなかなかできないと思ういます。アンケート内でも女性に対するものが多かったですが、男女共同参画は結果的に「人を1人の人間として個人として大切に扱い、個人個人がより生きやすく」するためのもの考えます。社会的には男性優位の強い日本ですが、アンケートの仕様や質問から、まずは男性、女性の別なく問題に向き合うよう考えていくことも大切ではないでしょうか。(経済的DVや、SEXにおいても家庭で知らず被害者となる男性はいると思います。力が強い、社会的立場が多くの場合優位とされているので気づかれる事は女性以上に少ないと聞きます)「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方が、日本の伝統的な家庭のあり方だと思う理由も、50代60代はわかりませんが、40代から下はおそらく学校では1つも教わっていません。昔あった考えの1つではあるとおもいますが、個々の家庭で言われるならともかく、『その他(具体的に)』で良かったのでは、と感じます。</p>
●	<p>多度津に嫁に来て、多度津は昔気質といいますか、長男が家を継ぎ、嫁が家のこと、介護をすることをあたり前にするようになっていと感じました。女性が働ける環境(保育所・預け先)もない(仕事してないと入れない)ので今から働く事は難しい。致し方ない、と受け入れてはいます。が、もし変わるなら...うれしい。</p>